

「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念フォーラム

OSAKA FORUM

大阪フォーラム

2002年10月21日～23日

プログラム

第12回リハビリテーション・インターナショナル (RI)
アジア太平洋地域会議

「アジア太平洋障害者の十年」
推進キャンペーン (RNN) 大阪会議

第25回総合リハビリテーション研究大会

国際職業リハビリテーション研究大会



障害者の権利実現へのパートナーシップ

PARTNERSHIPS FOR DISABILITY RIGHTS



「アジア太平洋障害者の十年」

1981年の国際障害者年と国連障害者の十年(1983年～1992年)に続いて、国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) は、北京で開催された第48回年次総会 (1992年) で、1993年から2002年までを「アジア太平洋障害者の十年」と宣言するとともに、この十年間に取り組むべき最も緊急な12の行動課題を決議しました。そして、この十年の間にはアジア太平洋地域において、障害者の人権と完全参加と平等を推し進め、また保障するために各国政府のみならず民間サイドでも多大な努力が払われてきました。

アジア太平洋障害者の十年における民間の様々な活動の中で特筆すべきものの1つは「アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議」(RNN) が毎年主催してきた一連の地域キャンペーンです。これは1993年に沖縄の浦添市でスタートし、下記のとおりアジア太平洋地域の様々な都市で順次開催されてきたものであり、このキャンペーンはこの十年の目標に対する社会一般の認識を深め、支援を得る上で大きな成功を収めてきています。

1993	沖縄	1998	香港 (中国)
1994	マニラ (フィリピン)	1999	クアラルンプール (マレーシア)
1995	ジャカルタ (インドネシア)	2000	バンコク (タイ)
1996	オークランド (ニュージーランド)	2001	ハノイ (ベトナム)
1997	ソウル (韓国)	2002	大阪

なお、2002年5月22日、ESCAP総会は「アジア太平洋障害者の十年」を更に10年延長し、「貧困と障害との悪循環」を断ち切るための対策等に取り組むことを決議しました。これからの十年のあり方を考えることが今大きな課題となっています。

大阪フォーラム

「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念フォーラムは、2002年の年間を通じたキャンペーンであり、その集大成として2002年10月に4つの国際会議と1つの国内会議が開催されます。その目的は「アジア太平洋障害者の十年」の12の行動課題の実現状況について総括するとともに、過去9回にわたるキャンペーンの成果を話し合うことを通して、次の「アジア太平洋障害者の十年」の活動の方向とRNNをさらに発展させた形でのネットワーク作りを提案していくことです。

大阪フォーラムは、この記念フォーラムの2つの主要な行事のうちの1つであり、もう1つの主要行事は札幌フォーラム、すなわち第6回DPI世界会議 (10月15日～18日) です。

大阪フォーラムでは、第12回リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域会議、アジア太平洋障害者の十年推進キャンペーン (RNN) 大阪会議、総合リハビリテーション研究大会 (総合リハ)、そして国際職業リハビリテーション研究大会 (職リハ) という4つの大きな会議が行われます。

また大阪フォーラムに引き続き、滋賀県大津市で国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) の「アジア太平洋障害者の十年」最終年ハイレベル政府間会合が開かれ、新しい「アジア太平洋障害者の十年」の政府レベルの活動が討議されますが、それに向けて地域のNGOの意見をとりまとめ、それが同会合での議論に反映されるように働きかけていくことも大きな目的です。



OSAKA FORUM

October 21 - 23, 2002 Osaka, Japan

メインテーマ.....	2
ご挨拶.....	5
組 織.....	6
概 要.....	9
大会概要.....	9
登 録.....	9
インフォメーション.....	10
宿 泊.....	12
大会行事.....	14
関連行事.....	16
企画展示.....	17
会場スケジュール.....	18
会場図.....	20
プログラム.....	23
謝 辞.....	35

PARTNERSHIPS FOR DISABILITY RIGHTS

Access Map



サイトA 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)
 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51
 TEL : 06-4803-5555

サイトB 国際障害者交流センター (ビッグ・アイ)
 〒590-0115 大阪市堺市茶山台1-8-1
 TEL : 072-290-0900



- 電車**
- ・JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分
 - ・JR東西線「新福島駅」(2番出口)から徒歩約10分
 - ・阪神電鉄「福島駅」から徒歩約10分
 - ・地下鉄「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約10分
- バス**
- ・JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪市バス(53系統 船津橋行)または(幹55系統 鶴町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ
 - ・シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」と各ターミナル(JR「大阪駅」中央北口、地下鉄・京阪「淀屋橋駅」西詰)の間で運行します(但し定員28名)



- 電車**
- ・南海
 - ・難波
 - ・梅田
 - ・9分

10月23日(水)		
RI / RNN / NR		VR
ビッグ・アイ <サイトB>		大阪国際交流センター <サイトE>
9:30-12:30	9:30-16:00	9:30-12:30
<p>全体会 PL-2</p> <p>★ ● ○ ▲ △ ▽ ■</p>	<p>研究発表</p> <p>口演 O-1~O-15 ビデオ V-1~V-5 ポスター P-1~P-15</p>	<p>職リハ研究発表</p>
	10:30-12:00	
	<p>RI 80周年記念講演 SS-1</p>	
13:30-16:00	13:30-15:30	13:30-15:30
<p>全体会 PL-3</p> <p>★ ● ○ ▲ △ ▽ ■</p>	<p>特別分科会 (医学的 リハビリテーション) SS-2</p>	<p>職リハ研究発表</p>
16:00-17:00		
<p>閉会式</p> <p>★ ● ○ ▲ △ ▽ ■</p>		

■ RI/RNN/総合リハ/職リハ 基調講演 (10月21日)

KS-1	アジア太平洋地域におけるRIおよびRNNの貢献—過去・現在・未来—
KS-2	アジア地域における地域に根ざしたリハビリテーション(CBR)の進展
KS-3	国連「障害者の機会均等化に関する標準規則」の総括と障害者権利条約へのインパクト

■ RI/RNN/総合リハ/職リハ パネルディスカッション (10月21日)

PD-1	障害者権利条約制定に向けて
------	---------------

■ RI 全体会 (10月22日)

PL-1	障害者差別禁止への取り組み—アジア太平洋地域の現状・課題・展望
------	---------------------------------

■ RI 分科会 (10月22日)

RI-PS-1	障害とは何か:最新の障害概念の発展とその意義
RI-PS-2	障害児の教育権—全ての障害児に教育を—
RI-PS-3	職業リハビリテーションおよび障害者雇用分野におけるパートナーシップ
RI-PS-4	障害者の権利を実現する福祉機器とアクセス
RI-PS-5	万人のQOL向上をめざすバリアフリー—観光
RI-PS-6	障害分野の国際協力—これからの障害者支援のあり方を考える

■ RNN 分科交流会 (10月22日)

RNN-PS-1	聴覚障害のある人々の交流会
RNN-PS-2	精神障害のある人々の交流会
RNN-PS-3	障害のある女性をとりまく問題に関する意見交換会
RNN-PS-4	その他の障害のある人々(オストミーの人々を含む)交流会
RNN-PS-5	知的障害のある人々の交流会

■ 総合リハ 分科会 (10月22日)

NR-PS-1	ハードルのない地域…バリアフリーを考える
NR-PS-2	当事者性について考える…自立生活運動の実践報告:現状・展望
NR-PS-3	障害者を締め出さない社会…欠格条項について
NR-PS-4	新しい地域福祉を展望する…障害者プランの現状と新障害者プランへの提言

■ 職リハ 分科会 (10月22日)

VR-PS-1	障害者雇用に関する法制度・施策
VR-PS-2	職業リハビリテーション(I):職業指導・評価
VR-PS-3	職業リハビリテーション(II):職業能力開発
VR-PS-4	民間企業における障害者雇用状況、好事例紹介

■ RI / RNN / 総合リハ 全体会 (10月23日)

PL-2	アジア太平洋障害者の十年の評価とポスト十年への取り組み
PL-3	ポスト十年への取り組みを考える—新たなRNNの枠組みと活動を中心に—

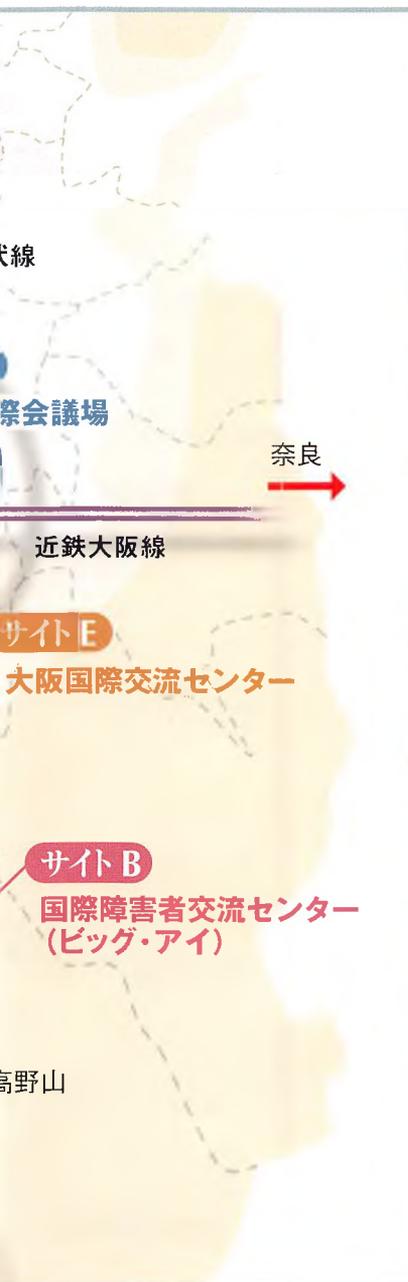
■ RI/RNN/総合リハ RI 80周年記念講演/特別分科会 (10月23日)

SS-1	リハビリテーション・インターナショナル 80年のあゆみ
SS-2	障害者の福祉向上のための医学的リハビリテーション

★ 同時通訳
☆ 逐次通訳
● 日本語手話通訳
○ 国際手話通訳
▲ 日本語聴覚筆記
△ 英語聴覚筆記
■ 磁気ループ

Program at a Glance

	10月21日(月)	10月22日(火)			
会議名	RI / RNN / NR / VR	RI	RNN	NR	VR
会場	大阪国際会議場 <サイトA>	ビッグ・アイ <サイトB>	大阪府内5コース アミティ舞洲 <サイトC> USJ <サイトD>	アミティ舞洲 <サイトC> USJ <サイトD>	大阪国際交流センター <サイトE>
9:00			<大阪府内5コース> 9:00-12:00	<サイトC>	
9:30	9:30-10:50	9:30-12:30		9:30-12:00	9:30-10:00
10:00	開会式 ★ ● ○ ▲ △ ■		見学 ☆	分科会 NR-PS-1 ☆ ● ▲ △	開会式 ★
10:30		全体会 PL-1 ★ ● ○ ▲ △ ■	※見学先による ● ○	NR-PS-2 ☆ ●	10:00-12:00 特別講演 ★
11:00	11:00-11:30 基調講演 KS-1 ★ ● ○ ▲ △ ■			NR-PS-3 ☆ ●	
11:30	11:30-12:00 基調講演 KS-2 ★ ● ○ ▲ △ ■			NR-PS-4 ☆ ● ▲	
12:00					
12:30					
13:00					
13:30	13:30-14:00 基調講演 KS-3 ★ ● ○ ▲ △ ■	13:30-16:30	<サイトC>	<サイトD>	13:30-17:00
14:00	14:15-16:45	分科会 RI-PS-1 ★ ● ▲ ■	14:00-16:00	14:00-17:00	
14:30		RI-PS-2 ★	交流分科会 RNN-PS-1 ☆ ● ○ ▲		
15:00		RI-PS-3 ★ ●	RNN-PS-2 ☆		国際交流分科会 1-4 ★
15:30	パネルディスカッション PD-1 ★ ● ○ ▲ △ ■	RI-PS-4 ★	RNN-PS-3 ☆	USJ見学 ☆ ●	
16:00		RI-PS-5 ★	RNN-PS-4 ☆		
16:30		RI-PS-6 ★	RNN-PS-5 ☆ ● ○ ▲ △		
16:30			<サイトD>		
17:00		17:00-20:00	17:00-20:00	17:00-20:00	
17:30					
18:00	18:00-20:00 ウェルカム・レセプション ☆ ○	RI夕食会	USJ夕食会 ☆ ● ○	USJ夕食会 ☆ ● ○	
19:00					
20:00					



サイトC 大阪市舞洲障害者スポーツセンター (アミティ舞洲)

〒554-0041 大阪市此花区北港白津2-1-46
TEL : 06-6465-8200



電車

- ・R大阪環状線「西九条」乗換、JRゆめ咲線「桜島駅」下車。「桜島駅」よりシャトルバス利用。
- ・JR大阪環状線「西九条」駅下車。大阪市営バス「舞洲スポーツアイランド」行き(特81)「アミティ舞洲」下車。

サイトD ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

〒554-0031 大阪市此花区桜島2-1-33
TEL : 06-4790-7000



電車

- ・JR大阪環状線「西九条」乗換、JRゆめ咲線「ユニバーサルシティ駅」下車

サイトE 大阪国際交流センター

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
TEL : 06-6772-5931



電車

- ・地下鉄「谷町九丁目駅」(谷町線・千日前線) 3番または5番出口から徒歩10分
- ・地下鉄「四天王寺前駅」(谷町線) 1番または2番出口から徒歩10分
- ・近鉄「上本町駅」から徒歩5分

バス

- ・市バス「上本町八丁目」バス停から徒歩1分
- ・関西空港からリムジンバスで「近鉄上本町」(所要時間50分)
- ・大阪空港からリムジンバスで「近鉄上本町」(所要時間30分)

電車泉北高速鉄道「泉ヶ丘駅」
波から約26分(準急利用、乗換なし)
田から約35分(地下鉄御堂筋線「難波駅」
南海電車泉北高速鉄道に乘換、梅田～難波
ト)

大阪フォーラムの内容

第12回リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域会議

第12回RIアジア太平洋地域会議は、1965年の第3回RI地域会議（東京、当時は「第3回汎太平洋リハビリテーション会議」）、1988年の第16回RI世界会議（東京）に続く、日本で3回目、関西でははじめてのRIの会議です。1922年に生まれ、今年で80周年を迎えるRIは、世界の80か国約130団体が加盟する、障害者のための総合的なリハビリテーション、すなわち医学、職業、社会、教育、工学などを通しての「全人的復権」の実現を目的とする国際組織で、国連の諮問団体でもあります。

第12回RIアジア太平洋地域会議の主な目的は、「障害者の権利実現へのパートナーシップ」というテーマにも示される通り、障害者インターナショナル (DPI)、国際育成会連盟 (II)、世界盲人連合 (WBU)、世界ろう連盟 (WDF)、世界盲ろう者連盟 (WFDB)、そして精神医療利用者・生還者世界ネットワーク (WNUSP) などの主要な障害関連国際NGOとの緊密な協力の中で、国連障害者権利条約づくりを促進することであり、またアジア太平洋地域の各国NGO、前述の国際NGOの地域組織、次に述べるRNNなどと協力して新しい「アジア太平洋障害者の十年」の課題を解決していくための方策、組織のあり方などを検討することです。

「アジア太平洋障害者の十年」推進キャンペーン (RNN) 大阪会議

アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議 (RNN) は、沖縄で開催された『「十年」を推進するNGO会議キャンペーン'93』での決議として1993年10月19日に設立されました。RNNの使命は、具体的な成果を目指して「十年」を積極的に推し進めていくことです。

その主な役割は次の通りです。

- ・ 各国のNGO間の協力・連携を強める
- ・ 「アジア太平洋障害者の十年」の行動課題の実現に当たって各国や国連機関に協力する
- ・ 「アジア太平洋障害者の十年」について地域内の人々に周知徹底させ、その理解を深めるように働きかける

本年のキャンペーンの課題はこの十年の課題を評価・総括し、次の十年の活動の方策・組織を検討し方向づけていくことです。

第25回総合リハビリテーション研究大会 (総合リハ)

この大会は、わが国のリハビリテーションの様々な分野で活躍している専門家の全国会議で、1977年に「リハビリテーション交流セミナー」として始まりました。その使命は、障害をもつ人の総合的なリハビリテーション（全人的復権）の実現です。以来、この会議は毎年日本各地で開催され、広範な分野の専門家と障害者が一堂に会して包括的なリハビリテーションのサービスとシステムの確立の方法を語り合い、また国内外の最新の情報を得る場となっています。

今回の総合リハビリテーション研究大会では、今年が「アジア太平洋障害者の十年」の最終年であることを記念して、RIとRNNへの参加者をも招き、最終年記念フォーラムのキャンペーンの3つのテーマ（欠格条項、障害者計画、情報バリアフリー）と関係深い4つのテーマの分科会を中心に、様々な共通の話題を共に論じ合うことを意図しています。また、バリアフリー環境と多数の障害者を雇用していることで有名なユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) の見学ツアーも含まれています。

国際職業リハビリテーション研究大会 (職リハ)

日本障害者雇用促進協会は厚生労働省と連携し、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障害者の雇用の促進と安定に貢献するため、事業主、関係機関等と協力して各種業務を行っています。

その1つとして、職業リハビリテーション関係者が研究成果や実践等について発表し、意見交換・交流を行う「職業リハビリテーション研究発表会」を1993年から毎年開催し、多数の研究者、障害者職業カウンセラー、関係機関の専門家、事業主、行政機関職員等の方々の参加を得ています。

本年については「アジア太平洋障害者の十年」最終年の記念事業であることから、研究や実践に関する発表に、日本と海外の職業リハビリテーション関係者が相互に意見交換を行う国際交流分科会を加えた「国際職業リハビリテーション研究大会」として開催することとしています。

国際職業リハビリテーション研究大会についてのお問い合わせは日本障害者雇用促進協会までご連絡ください。

TEL. 043-297-9067 Fax. 043-297-9057 Eメール: kikakubu@nivr.jaed.or.jp

ご挨拶



2002年10月21日～23日に大阪で開かれる大阪フォーラムに皆様をお招きできますことを誠に光榮に存じます。本フォーラムは「アジア太平洋障害者の十年」（1993～2002）の最終年記念フォーラムの一部として開催されるものであり、今回の大阪フォーラムとこれに先立って札幌で開催される第6回DPI世界会議（2002年10月15日～18日）とでこの記念フォーラムの催しは構成されることとなります。

大阪フォーラムでは、1) 第12回リハビリテーション・インターナショナル（RI）アジア太平洋地域会議、2) 「アジア太平洋障害者の十年」推進キャンペーン（RNN）大阪会議、3) 第25回総合リハビリテーション研究大会、そして4) 国際職業リハビリテーション研究大会という4つの大きな会議が行われます。

大阪フォーラムのメインテーマは「障害者の権利実現へのパートナーシップ」であり、この十年間にアジア太平洋地域の各国で蓄積された経験や実績を総括し、これをアジア太平洋地域の人々の間で、また世界の他の地域からの参加者との間でも共有することを意図しています。

さらに国連障害者権利条約の実現をめざし、また本年5月22日にESCAPで決定された、新しい「アジア太平洋障害者の十年」に障害者の完全参加と平等を達成するために必要な、さらなる活動について話し合うことが主たる目的です。多数の方々に積極的にご参加いただくことで、大阪フォーラムは必ずや意義深く実り豊かな会議となることと確信しております。

最後に本会議が是非とも成功するよう皆様の全面的なご協力をお願いして、私からのご挨拶とさせていただきます。

八代英右

「アジア太平洋障害者の十年」
最終年記念フォーラム組織委員会委員長
衆議院議員・元郵政大臣

組 織

組 織

「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念フォーラム組織委員会

- ・日本身体障害者団体連合会
- ・全国社会福祉協議会
- ・日本障害者雇用促進協会
- ・2002年第6回DPI世界会議札幌大会組織委員会（DPI日本会議）
- ・アジア太平洋障害者の十年最終年記念大阪フォーラム組織委員会
- ・日本障害者協議会
- ・日本障害者リハビリテーション協会

リハビリテーション・インターナショナル（RI）
アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議（RNN）

後援団体

国連アジア太平洋経済社会委員会（UN ESCAP）、内閣府、総務省、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、東京都、北海道、大阪府、滋賀県、札幌市、大阪市、堺市、日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、日本赤十字社、国際協力事業団、中央共同募金会、社会福祉・医療事業団、テクノエイド協会、日本財団、長寿社会開発センター、車輛競技公益資金記念財団、日本小型自動車振興会、日本自転車振興会、中央競馬馬主社会福祉財団、広げよう愛の輪運動基金、日本テレビ系列愛の小鳩事業団、損保ジャパン記念財団、キリン福祉財団、丸紅基金、太陽生命ひまわり厚生財団、日本放送協会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、大阪府教育委員会

（順不同）

アジア太平洋障害者の十年最終年記念フォーラム組織委員会

組織委員会委員（順不同）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 組織委員長
八代 英太 衆議院議員 ● 委員長代行
山下 眞臣
財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 会長 ● 副委員長
兒玉 明
社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会 会長
河端 静子
日本障害者協議会 代表
長尾 立子
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 会長
板山 賢治
財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 副会長
山田 昭義
DPI日本会議 議長
神田 直也
第6回DPI世界会議札幌大会組織委員会 会長
嵐谷 安雄
最終年記念大阪フォーラム組織委員会 委員長
松井 亮輔
国際リハビリテーション協会（RI）副会長
上田 敏
財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 副会長
椎谷 正
日本障害者雇用促進協会 会長 | <ul style="list-style-type: none"> 笹川 吉彦
社会福祉法人 日本盲人会連合会 会長
安藤 豊喜
財団法人 全日本ろうあ連盟 理事長
緒方 直助
社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会 理事長
加藤 正仁
財団法人 日本知的障害者福祉協会 会長
古屋 治男
財団法人 全国精神障害者家族会連合会 理事長
谷中 輝雄
社会福祉法人 全国精神障害者社会復帰施設協会 会長
坂口 亮
全国肢体不自由児施設運営協議会 会長
江草 安彦
社団法人 日本重症児福祉協会 理事長
北郷 勲夫
財団法人 日本障害者スポーツ協会 会長 ● 募金特別委員長
金田 一郎
社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター 理事長 ● 事務総長
松尾 武昌
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 常務理事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 障害者団体関係委員
本田 佐敏 呉屋 秀信
吉本 哲夫
藤田 勉 高岡 正
赤坂 勝 本間 昭夫
手嶋 勇一 小島 純郎 ● 社会福祉団体関係委員
末次 彬 中島 元彦
光田 鈔 西宮 能義
松廣屋慎二 駒井 信義
徳川 輝尚 花輪 隆昭
斎藤 公生 竹中 浩治 ● 専門職関係委員
千野 直一 落合英美子
初山 泰弘 澤村 誠志
奈良 勲 佐藤 久夫
三浦 文夫 関 宏之
手塚 直樹 杉原 素子
伊藤 利之 寺山久美子
江口壽榮夫 野村 敬 ● 教育関係委員
三浦 和 皆川 春雄 ● 青少年関係委員 西原 春夫 ● ボランティア・NPO関係委員 末次 一郎 ● 女性団体関係委員 秋田 幸子 ● 労働関係委員 大山 泰弘 ● 交通・運輸関係委員 金丸 純一 | <ul style="list-style-type: none"> 山口 弘美 稲垣 豪三
佐藤エミ子 津山 直一
鈴木 勇二 立岡 暁
石井 哲夫 山城 永盛
北浦 雅子 樋口 恵子 近衛 忠輝 森本 正夫
谷内 昭
奥野新太郎
今泉 昭雄
堀込 藤一 松矢 勝宏 田澤 泰弘
三ツ木任一 高橋 清久
山内 繁 坪井 栄孝
谷 修一 山本 博司
京極 高宣 小松崎 篤
米本 恭三 白田 貞夫
岩橋 明子 仲田 邦男 能瀬 廉英 阿部 志郎 |
|---|---|---|---|

● 助成団体関係委員

真鍋 圭作	上田 武	池藤 秀彦
村本 周三	橋本 徹	水上 健也
小川 諄	辻 亨	斎藤 明
山口 信夫	有吉 孝一	山口 剛彦
駒井 信義	菅野 洋史	小島 弘伸
梶山 義夫	島村 秀一	
藤田 和夫	松本 一篤	

● マスコミ関係委員

海老沢勝二 村田 幸子

● 文化芸術関係委員

宮城まり子 城 みさを

● 国際団体関係委員

丸山 一郎 高嶺 豊

● 国・地方公共団体関係委員

細村 迪夫

● 監事

花田 春兆 野村 茂樹 大須賀郁夫

● 顧問

堀 利和 参議院議員
荒木 浩 東京電力株式会社 顧問
氏家齊一郎 財団法人 日本テレビ系列 愛
の小鳩事業団 理事長
鷺尾 悦也 全国労働者共済生活協同組合
連合会 理事長
川上 隆朗 国際協力事業団(JICA) 総裁
堀 達也 北海道知事
太田 房江 大阪府知事

國松 善次 滋賀県知事

桂 信雄 札幌市長
磯村 隆文 大阪市長
木原 敬介 堺市長

佐藤徳太郎 国立身体障害者リハビリテ
ーションセンター 総長

組織委員会実行委員 (順不同)

● 実行委員会委員長

板山 賢治 財団法人 日本障害者リハビ
リテーション協会 副会長

● 総務・企画委員会委員長

藤井 克徳 日本障害者協議会 常務理事

● 財務委員会委員長

奥山 元保 財団法人 日本障害者リハビ
リテーション協会 常務理事

● 広報・記録委員会委員長

比留間ちづ子 社団法人 日本作業療法士協会
常務理事

● キャンペーン委員会委員長

松友 了 社会福祉法人 全日本手をつ
なぐ育成会 常務理事

● 国際会議委員会委員長

丸山 一郎 アジア太平洋障害者の十年推
進NGO会議(RNN)事務局長

● 札幌フォーラム委員会委員長

神田 直也 第6回DPI世界会議札幌大会
組織委員会 会長

● 大阪フォーラム委員会委員長

上田 敏 財団法人 日本障害者リハビ
リテーション協会 副会長

● 事務局長

奥山 元保 財団法人 日本障害者リハビ
リテーション協会 常務理事

● 実行委員

青葉 紘字 川越 利信
浅井 邦彦 川畑 順洋
中 博一 河村 宏
新井 真一 神田 直也
新井 宏 金 政玉
井口 拓治 木村 哲彦
伊藤 利之 木村 尚行
稲垣 宏樹 久保 耕造
井上 英子 黒崎 信幸
岩田 直子 後藤真一郎
岩橋 明子 小林 孟史
上野 悦子 小林 勉
植村 英晴 小林 洋子
江上 義盛 小槌山 覚
大杉 豊 齋藤 績
太田 修平 斎藤 正昭
奥野 英子 坂上 譲二
桶谷 肇 阪本 英樹
小田 ゆき 桜井 勇
小野 鎮 佐々木恭造
加藤真規子 佐治 孝洋
金子 健 佐藤 久夫
神谷 武秀 澤村 誠志

鈴木 可人

関 宏之 藪部 英夫
高岡 正 高田 英一
高橋 秀治 竹内 正直
武田 治子 伊達 雅則
田中 徹二 大島 謙
坪松 真吾 寺島 彰
中尾 忠雄 中島 武範
成瀬 正次 西村 正樹
沼田千好子 野内 恭雄
橋口 哲男 濱井 良文
原田 潔 平野みどり

古川 邦昭

堀内生太郎 牧田 克輔
蒔苗 実 正井 秀夫
松井 亮輔 松尾 武昌
萬濃 正士 三浦 拓也
三澤 了 宮沢 豊宏
宮本 泰輔 宮本 明彦
武者 正美 村尾 俊明
森 祐司 山内 繁
山口 宏 山岸 弘
山下 頼充 山本 好男
吉田 あこ 渡辺 禮司

大阪フォーラム組織委員会

● 組織委員長

嵐谷 安雄 財団法人 大阪府身体障害者福祉協会 会長

● 副委員長

楠 敏雄 DPI日本会議 副議長
手嶋 勇一 財団法人 大阪市身体障害者団体協議会 会長
石田 英勝 社会福祉法人 大阪市障害者更生文化協会 常務理事・
事務局長
障害者情報文化研究所

● 委員

浦 友亮 財団法人 大阪府視覚障害者福祉協会 会長
岡本 栄一 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 会長
小澤 温 大阪市立大学 助教授
北野 誠一 桃山学院大学 教授
清田 廣 社団法人 大阪聴力障害者協会 会長
佐藤 貞良 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 事務局長

澤村 誠志

塩見健一郎 慎 英弘
辻 一 寺本 徳造
中川 隆 藤本 太
古川 敏雄 保田八十次
上田 敏

● 大阪フォーラム事務局長

関 宏之 大阪市職業リハビリテーションセンター 所長

● 大阪フォーラム事務局長次長

正井 秀夫 大阪市職業リハビリテーションセンター 支援係長

兵庫県立総合リハビリテーションセンター 顧問

社会福祉法人 大阪知的障害者育成会 理事長
花園大学 教授
社団法人 大阪脊髄損傷者協会 会長
社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会 会長
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 事務局長
堺市障害者(児)団体連絡協議会 会長
社会福祉法人 堺市社会福祉協議会 事務局長
社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会 理事長
大阪フォーラム実行委員会 委員長

(順不同)

大阪宣言起草委員

● 委員長

松井 亮輔 リハビリテーション・インターナショナル(RI)副会長

● 顧問

上田 敏 大阪フォーラム実行委員会委員長、日本障害者リハ
ビリテーション協会副会長

組織

● 委員

- 新井 宏 全国社会福祉協議会障害福祉部長
- 猪股 功忠 日本盲人会連合
- 江上 義盛 全国精神障害者家族会連合会専務理事
- 大杉 豊 全日本ろうあ連盟事務所長
- 太田 修平 日本障害者協議会
- 北野 誠一 大阪フォーラム組織委員会、桃山学院大学教授
- 金 政玉 DPI日本会議事務局次長
- 清田 廣 大阪フォーラム組織委員会、大阪聴力障害者協会会長
- 兒玉 明 日本身体障害者団体連合会会長

- 佐藤 久夫
- 慎 英弘
- 寺本 徳造
- 西村 正樹
- 藤井 克徳
- 松友 了
- 丸山 一郎
- 萬濃 正士
- 保田 八十次
- 山岸 康子

- 日本社会事業大学教授
- 大阪フォーラム組織委員会、花園大学教授
- 大阪フォーラム組織委員会、大阪府精神障害者家族会連合会会長
- 札幌フォーラム組織委員会、DPI日本会議副議長
- 総務・企画委員長
- キャンペーン委員長、手をつなぐ育成会常務理事
- RNN事務局長
- 日本障害者雇用促進協会
- 大阪フォーラム組織委員会、大阪市知的障害者有成会理事長
- 全国盲ろう者協会 (順不同)

リハビリテーション・インターナショナル (RI)

● 会長

- レックス・フリーデン (アメリカ)
- 前会長
- アーサー・オライリー (アイルランド)
- 事務総長
- トーマス・ラガウォル (スウェーデン)
- 会計
- ジョージ・ウィルソン (イギリス)
- アジア太平洋地域担当副会長
- 松井 亮輔
- アジア太平洋地域担当副会長
- ベニー・チュン (中国香港特別行政区)

● アフリカ地域担当副会長

- B・T・ナイドゥ (南アフリカ)
- アフリカ地域担当副会長
- ギディオン・カイノ・マンデシ (タンザニア)
- アラブ地域担当副会長
- エイサ・アリ・モハメッド・アル・サディ (クウェート)
- アラブ地域担当副会長
- カーレド・エル・モータル (レバノン)
- 北アメリカ地域担当副会長
- ナンシー・ラウンド (カナダ)

● 北アメリカ地域次席副会長

- スーザン・ダニエルズ (アメリカ)
- ヨーロッパ地域担当副会長
- ハイディ・リンドバーク (フィンランド)
- ヨーロッパ地域担当副会長
- ジリ・ボタバ (チェコ)
- ラテンアメリカ地域担当副会長
- オットー・マルケス・ダ・シルバ (ブラジル)
- ラテンアメリカ地域担当副会長
- ホルヘ・エンリケ・シエラ・レイエス (コロンビア)

(順不同)

リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域委員会

● 委員長

- 松井 亮輔
- 委員長代理
- ベニー・チュン (中国香港特別行政区)
- 副委員長
- S・M・スガン・スバリ (インドネシア)
- ジョセフ・クオック (中国香港特別行政区)
- 事務局長
- 上野 悦子
- 医学委員会委員長
- ザリハ・オマール (マレーシア)

● 社会委員会委員長

- 佐藤 久夫
- 就労・雇用委員会委員長
- デボラ・ウォン (中国香港特別行政区)
- 就労・雇用委員会副委員長
- 大瀧 憲一
- 教育委員会委員長
- ベニー・プライス (オーストラリア)
- 教育委員会副委員長
- ウマ・トゥリ (インド)

● 福祉機器・アクセス専門委員会 (ICTA) 委員長

- アーサー・F・T・マック (中国香港特別行政区)
- レジャー・レクリエーション・スポーツ委員会委員長
- 朴 昌一 (バク・チャンイル) (韓国)
- 情報委員会委員長
- カレン・ヌガイ (中国香港特別行政区)
- 地域に根ざしたりハビリテーション (CBR) 委員会委員長
- ハンドヨ・チャンドラクスマ (インドネシア)

(順不同)

アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議 (RNN)

● 事務局長

丸山 一郎

各国NGO代表

- インドネシア 障害者協会
- ロデワイク・マヌルンダ
- オーストラリア 全国障害者サービス事業協会 (ACROD)
- ブライアン・ウッドフォード
- 韓国 障害者リハビリテーション協会 (KSRD)
- 趙 一黙 (チョー・イルムク)
- シンガポール 障害者福祉協会
- ジュディ・ウイー

- タイ 全国社会福祉協議会リハビリテーション委員会
- ナロン・パティバツアラキッチ
- 中国香港特別行政区 香港復康聯會
- ハリー・ファン
- 日本 新・障害者の十年推進会議
- 山下 真臣
- ニュージーランド 障害者会議 (DPA)
- ビル・ライトソン

- バングラデシュ 身体障害者リハビリテーション協会 (SARPV)
- シャヒドル・ハク
- フィリピン 障害者連合 (KAMPD)
- ドミンガ・ケヤド
- ベトナム 障害をもつ人々の明るい未来のためのグループ
- ドゥオン・ティ・バン
- マレーシア リハビリテーション協議会
- カティジャ・スリエマン (順不同)

国際NGO代表

- アジア太平洋リハビリテーション従事者行動ネットワーク (RANAP)
- ジョセフ・クオック (中国香港特別行政区)
- アジア盲人連合 (ABU)
- クア・チェン・ホック (シンガポール)
- 国際育成会連盟 (II) アジア委員会
- J・B・マンロ (ニュージーランド)

- 障害者インターナショナル (DPI)・アジア太平洋地域評議会
- ビーナス・イラガン (フィリピン)
- 世界ろう連盟 (WFD) アジア太平洋事務局
- 小椋 武夫
- 南アジア障害者ネットワーク (SAN)
- シャヒドル・ハク (バングラデシュ)

- リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域委員会
- 松井 亮輔

(順不同)

概 要



大会概要

期 間

平成14年10月21日(月)～23日(水)

開催会場

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）……………サイトA
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-51

国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）……………サイトB
〒590-0115 大阪府堺市茶山台1-8-1

大阪市舞洲障害者スポーツセンター（アミティ舞洲）……………サイトC
〒554-0041 大阪府大阪市此花区北港白津2-1-46

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）……………サイトD
〒554-0031 大阪府大阪市此花区桜島2-1-33

大阪国際交流センター……………サイトE
〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8-2-6

使用言語

会議の使用言語は日本語と英語です。

21日 開会式、基調講演、パネルディスカッション…英語（全てのセッションに同時通訳が入ります）

22日 RI全体会、分科会…英語（全てのセッションに同時通訳が入ります）
RNN見学…日本語（逐次通訳が入ります）
RNN交流分科会…英語（逐次通訳が入ります）
総合リハ開会式、分科会…日本語（逐次通訳が入ります）
USJ見学…日本語（逐次通訳が入ります）
USJ夕食会…日本語・英語（逐次通訳が入ります）

23日 全体会、閉会式…英語（全てのセッションに同時通訳が入ります）
研究発表…英語（通訳は入りません）。ただし、総合リハのポスター討論は一部、日本語で行われます。

登 録

登録デスク

登録デスクは下記の時間・場所に開設いたします。登録証と引替に会議資料、コンgresバック、ネームカードをお渡しします。

日	時間	会場
10月21日（月）	8:30-17:00	大阪国際会議場《グランキューブ大阪》5Fメインホワイエ
10月22日（火）	9:00-17:00	ビッグ・アイ エントランスホール（RI 参加者のみ）
	9:00-16:00	アミティ舞洲 2Fエントランスホール（RNN／総合リハ 参加者のみ）
10月23日（水）	9:00-17:00	ビッグ・アイ エントランスホール

概 要

登 録 料

RI / RNN / 総合リハ登録料

	全日程参加 登録料	1日参加登録料		
		10月21日のみ	10月22日のみ	10月23日のみ
一般参加者	¥25,000	¥15,000	¥15,000	¥10,000
同伴者 ¹⁾	¥15,000	¥10,000	¥10,000	¥6,000
学 生 ²⁾	¥15,000	¥10,000	¥10,000	¥6,000
介助者 ³⁾	無料			

1) ご参加いただける同伴者は一般参加者1人につき1名とさせていただきます。

2) 学生として登録される方は、学生証のコピーをご提示ください。

3) 障害のある方（学生を含む）が参加される場合、1人につき介助者1名が無料となります。

登録料には次のものが含まれます（一部不参加の場合でも登録料は変わりません）

[RI 参加者登録の場合]

RI一般参加者として登録された場合には、RIプログラム、RI / RNN合同セッション、研究発表のほか、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、ビッグ・アイでの夕食会にご参加いただけます。またコンgresバッグ、会議プログラム、抄録集、参加者名簿、その他会議資料を受け取ることができます。

RI同伴者として登録された方は、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、ビッグ・アイでの夕食会にご参加いただけます。

[RNN 参加者登録の場合]

RNN一般参加者として登録された場合には、RI / RNN合同プログラム、RNNプログラム / 見学（USJも含む）、研究発表のほか、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、USJでの夕食会にご参加いただけます。またコンgresバッグ、会議プログラム、抄録集、参加者名簿、その他会議資料を受け取ることができます。

RNN同伴者として登録された方は、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、USJでの夕食会にご参加いただけます。

[総合リハ研究大会 参加者登録の場合]

総合リハ研究大会一般参加者として登録された場合には、総合リハ / RNN合同プログラムへの参加、総合リハ / RI / RNN合同プログラム、研究発表のほか、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、USJ見学およびそこの夕食会にご参加いただけます。またコンgresバッグ、会議プログラム、抄録集、参加者名簿、その他会議資料を受け取ることができます。

総合リハ研究大会同伴者として登録された方は、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、USJでの夕食会にご参加いただけます。

[1日参加登録の場合]

参加申し込みされた日のすべてのプログラムにご参加いただけます。また、コンgresバッグ、会議プログラム、抄録、参加者名簿を受け取ることができます。

[学生参加者登録の場合]

学生参加者として登録された場合には、一般参加者と同じプログラムにご参加いただけます。お渡しするのは会議プログラムのみとさせていただきます。

インフォメーション

総合案内デスク

大会概要、プログラム、各種サービスなどの情報は、こちらでお問い合わせください。

日	時間	会場
10月21日（月）	8:30-17:00	大阪国際会議場《グランキューブ大阪》5Fメインホワイエ
10月22日（火）	9:00-17:00	ビッグ・アイ エントランスホール
	9:00-16:00	アミティ舞洲 2Fエントランスホール
10月23日（水）	9:00-17:00	ビッグ・アイ エントランスホール

●メッセージ・ボード

総合案内デスクには、メッセージ・ボードが設置されますので、伝言などにご活用ください。

トラベル・デスク

シャトルバス、ホテルなどについてのお問い合わせに対応いたします。

日	時間	会場
10月21日 (月)	8:30-17:00	大阪国際会議場《グランキューブ大阪》5Fメインホワイエ
10月22日 (火)	9:00-17:00	ビッグ・アイ エントランスホール
	9:00-16:00	アミティ舞洲 2Fエントランスホール
10月23日 (水)	9:00-17:00	ビッグ・アイ エントランスホール

● シャトルバス

会期中、各ホテルと各会場間をシャトルバス（一部リフト付）が運行いたします。各ホテルに開設されるトラベル・デスクにて詳細をご確認ください。

各種サービス

● ボランティア・サービス

各会場には介助ボランティア、語学ボランティアなどのスタッフを配置しております。

また、車椅子、その他の福祉器具のテクニカルサービスもご用意しております。修理の程度により費用を自己負担いただく場合もありますので、予めご了承ください。

● 出張郵便局

各会場の総合案内デスクにてお問い合わせください。

アクセシビリティ

本大会では下記のアクセシビリティ・サービスをご用意しております。

各会場での対応状況は、差込のプログラム概要でお確かめください。

1. 国際手話
2. 日本語手話
3. 要約筆記（日本語・英語）
4. 磁気ループ

昼食

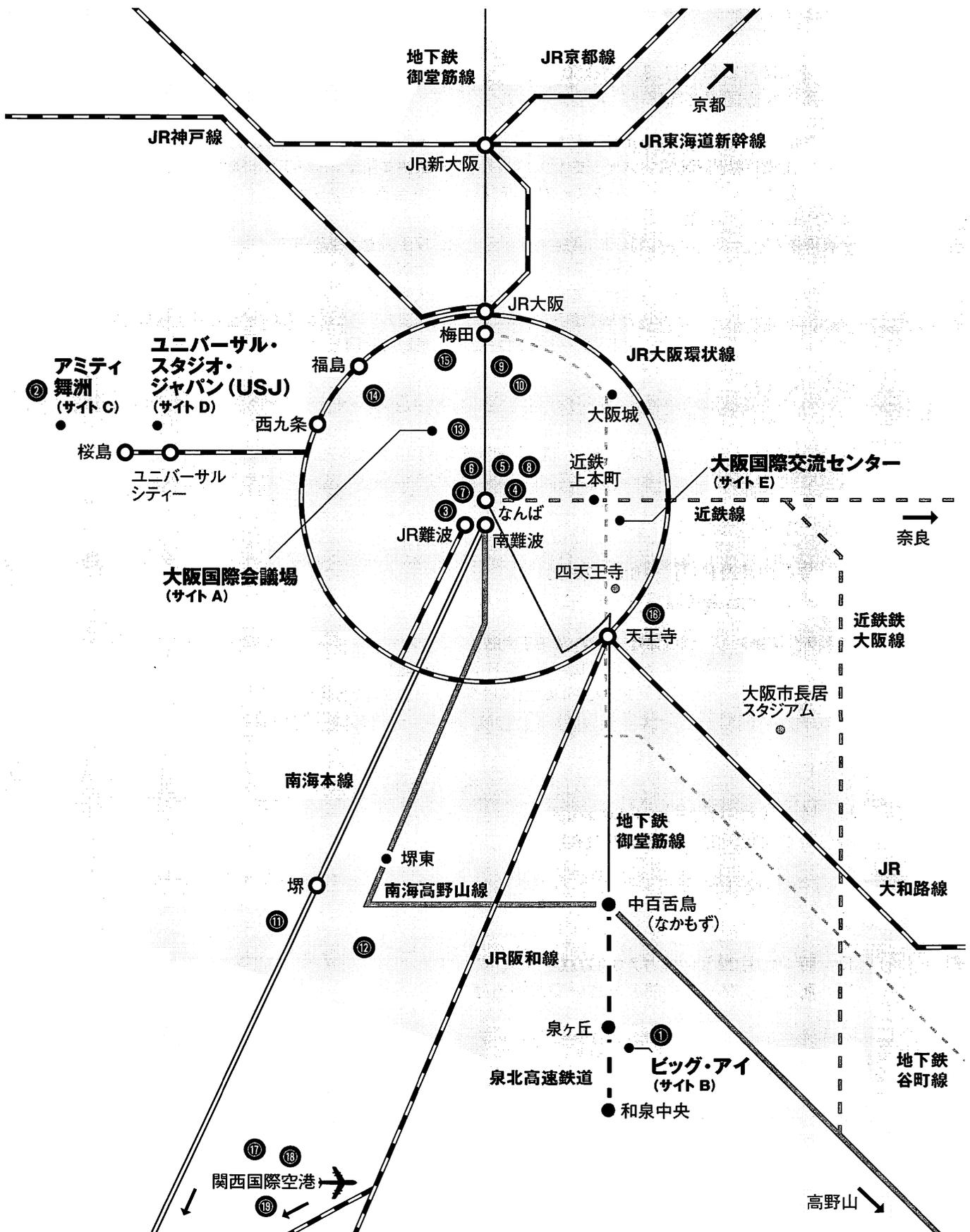
会期中、昼食をご用意いたしますので、ご利用ください。

日	時間	会場
10月21日 (月)	12:00-13:00	大阪国際会議場《グランキューブ大阪》5Fメインホワイエ
10月22日 (火)	12:00-13:00	ビッグ・アイ前 ふれあい交流ひろば
	12:00-13:00	アミティ舞洲 2F レストラン
10月23日 (水)	12:00-13:00	ビッグ・アイ前 ふれあい交流ひろば

宿 泊

宿
泊

エリア	コード	ホテル名	〒	住 所	TEL	FAX
会場隣接	①	ビッグ・アイ(全部屋障害者用施設完備)	590-0115	大阪府堺市茶山台1-8-1	072-290-0962	072-290-0972
	②	アミティ舞洲/ロジック舞洲	554-0041	大阪府大阪市此花区北港白津2-1-46	06-6465-8210	06-6465-8213
A 難波	③	南海サウスタワーホテル大阪	542-0076	大阪市中央区難波5-1-60	06-6646-1111	06-6648-0331
	④	なんばオリエンタルホテル	542-0074	大阪市中央区千日前2-8-17	06-6647-8111	06-6632-9979
	⑤	ホリデーイン南海大阪	542-0085	大阪市中央区心斎橋筋2-5-15	06-6213-8281	06-6213-8640
	⑥	ホテル日航大阪	542-0086	大阪市中央区西心斎橋1-3-3	06-6244-1111	06-6245-2432
	⑦	ホテル南海なんば	556-0001	大阪市浪速区難波中1-17-11	06-6649-1521	06-6632-5061
	⑧	ホテルメトロ The 21	542-0084	大阪市中央区宗右衛門町2-13	06-6211-3555	06-6211-3586
	⑨	三井ガーデンホテル大阪	541-0043	大阪市中央区高麗橋2-5-7	06-6223-1131	06-6223-0257
	⑩	ライオンズホテル大阪	541-0043	大阪市中央区高麗橋2-2-10	06-6201-1511	06-6229-1984
B 堺	⑪	リーガロイヤルホテル堺	590-0985	堺市戎島町4-45-1	072-224-1121	072-224-1120
	⑫	ホテルサンルート堺	590-0960	堺市少林寺町西1-1-1	072-232-0303	072-232-8626
C 大阪北	⑬	リーガロイヤルホテル大阪	530-0005	大阪市北区中之島5-3-68	06-6448-1121	06-6448-4414
	⑭	ホテル阪神	553-0003	大阪市福島区福島5-6-16	06-6344-1661	06-6344-9860
	⑮	ハートンホテル西梅田	530-0001	大阪市北区梅田3-3-55	06-6342-1111	06-6342-1122
D 天王寺	⑯	天王寺都ホテル	545-0053	大阪市阿倍野区松崎町1-2-8	06-6628-3200	06-6628-8686
E 関西国際空港	⑰	全日空ゲートタワーホテル	598-8511	泉佐野市りんくう往来北1番	0724-60-1111	0724-60-1177
	⑱	関西空港ワシントンホテル	598-8522	大阪府泉佐野市りんくう往来北1-7	0724-61-2222	0724-61-4522
	⑲	ホリデイイン関西空港	598-0006	泉佐野市市場西3-3-33	0724-69-1112	0724-69-5600



宿
泊

大会行事

開会式

日 時：10月21日(月) 9:30-10:50

場 所：大阪国際会議場 5F メインホール

開会の辞	嵐谷 安雄	大阪フォーラム組織委員長
主催者挨拶及び特別講演	八代 英太	最終年記念フォーラム組織委員会委員長
主催者挨拶	レックス・フリーデン	RI 会長 (アメリカ)
常陸宮正仁殿下お言葉		
来賓挨拶	渡辺 具能	厚生労働大臣政務官
	太田 房江	大阪府知事
	磯村 隆文	大阪市長
	大海渡桂子	国連アジア太平洋経済社会委員会 (UN ESCAP) 事務局次長
	キキ・ノードストローム	国際障害同盟 (IDA) 議長 (スウェーデン)

IDA 声明2002

開会式前のアトラクション 「翔龍太鼓(山口県)」聴覚障害者10人による太鼓演奏

ウェルカム・レセプション

日 時：10月21日(月) 18:00-20:00

場 所：大阪国際会議場 3F イベントホール

アトラクション 「津軽三味線」進藤正太郎
「クイズで国際手話」全日本ろうあ連盟
『アジア太平洋障害者の十年』テーマソング合唱」 アミーカ

女性障害者の会

日 時：10月21日(月) 18:00-20:00

場 所：大阪国際会議場 10F 1009

RI夕食会

日 時：10月22日(火) 17:00-20:00

場 所：ビッグ・アイ前ふれあい交流ひろば

USJ夕食会 (RNN/総合リハ合同)

日 時：10月22日(火) 17:00-19:00

場 所：ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

閉会式

日 時：10月23日(水) 16:00-17:00

場 所：ビッグ・アイホール

主催者挨拶 板山 賢治

次期各会議主催者代表挨拶

タイ代表

丸山 一郎

佐藤徳太郎

尾上 攻

来賓挨拶

木原 敬介 (予定)

大阪宣言 趣旨説明

松井 亮輔

朗読

ビーナス・イラガン

最終年記念フォーラム実行委員会委員長

第26回RIアジア太平洋地域会議, 2006

APDF (RNN新組織) キャンペーン, 2003

総合リハビリテーション研究大会, 2003

職業リハビリテーション研究大会, 2003

堺市長

RI副会長

DPIアジア太平洋ブロック議長 フィリピン

関連行事

第6回DPI世界会議 札幌大会

平成14年10月15日(火)～18日(金)

場 所：北海道札幌市豊平区豊平5条11丁目 きたえーる

ESCAP「アジア太平洋障害者の十年」最終年ハイレベル政府間会合

平成14年10月25日(金)～28日(月)

主 催：日本政府、滋賀県

場 所：滋賀県大津市

ふれあい交流ひろば（ビッグ・アイ前広場）

「ふれあい交流ひろば」は、アジア各国・地域から参加される障害のある方々と地域住民の皆さん、イベントを支えるボランティアの皆さんの国際交流の場として開かれます。

前夜祭

日 時：10月20日(日) 17:00～20:00

オープニング 沖縄民謡

地元歓迎の挨拶

コーラス、歌、手話コーラス（童謡）、ゴスペル

よさこい踊り

閉会のご挨拶

後夜祭

日 時：10月23日(水) 17:00～19:00

オープニング（太鼓）

ウィルチェアーダンス、ギター演奏、アフリカ民族音楽

フィナーレ

ボランティアの皆さんの感想発表

感謝のご挨拶

閉会のご挨拶

企画展示



日 時：10月21日(月) 8:30-17:00
場 所：大阪国際会議場 5F ロビー、メインホワイエ

◆「アジア太平洋地域と日本・大阪の障害のある人の現在」パネル展示

「アジア太平洋地域各国の障害のある人の現在」「日本の障害のある人の現在」「大阪の障害のある人の現在」
「『アジア太平洋障害者の十年』キャンペーン会議の歩み」という内容で、わかりやすく親しみやすいパネルを作成し展示することにより、国際的な視野に立って、障害のある人びとへの理解を深める。

タイトル：「アジアと日本・大阪の障害のある人の現在」

- ①「アジア太平洋地域各国の障害のある人の現在」
アジア太平洋地域内約20ヶ国における障害のある人に対する施策の紹介や障害のある人たちの取り組み、ニューリーダーの素顔の紹介など
- ②「アジア太平洋障害者の十年」キャンペーン会議の歩み
沖縄国際NGO会議（1993年）から、RNNキャンペーンハノイ会議（2001年）まで、9回のキャンペーン会議のアウトラインを紹介
- ③日本の障害のある人の現在
支援費制度のスタート、欠格条項の見直し、補助犬法の成立などの新しいニュースの解説から、障害のある人のスポーツ、旅を楽しむノウハウまで、日本の障害のある人をめぐるさまざまなトピックスを紹介
- ④大阪の障害のある人の現在
日本の福祉の「はじまりの地」である大阪。日本ではじめての地下鉄駅のエレベーター、ろうあ者のホームヘルパーなど、全国にさががけて行われてきたさまざまな取り組みを紹介

◆NHK番組「きらっといきる」コーナー

さまざまな障害のある人たちの「きらっといきる」生き方を紹介して、障害のある人たちから大きな反響があるNHK教育テレビのこの番組の集大成である「きらっといきるスペシャル」を上映（日本語・英語字幕付き）するとともに、今までに紹介されたたくさんの障害のある人のすばらしい芸術活動の中から、5人の人の作品を展示する。

- ① 持田昭俊さん 東京都在住。聴覚障害がある。SLなど鉄道写真を撮り続けている。
- ② 夢村さん 大阪府在住。精神障害がある。今回は、影絵風の連作を出展。
- ③ 横山温思さん 大阪府在住。ダウン症。のびやかな作風の絵画を出展。
- ④ 道鎮幹夫さん 福井県在住。知的障害がある。貼り絵を出展。
- ⑤ 西永佳代さん 山口県在住。ウィルソン病。猫がモチーフの絵画を出展。

日 時：10月22日(火) 9:00-18:00
10月23日(水) 9:00-17:00
場 所：ビッグ・アイ1F/2Fエントランスホール、ホワイエ

◆「アジア太平洋地域と日本・大阪の障害のある人の現在」パネル展示（上記と同じ）

◆障害のある人の芸術活動の紹介

- ① 森田真千子の世界展
森田真千子さんは、大阪府在住の画家。脳性まひのため、口で筆をとる。多彩なモチーフの絵画は圧倒的な存在感がある。日本で6人しかいない世界身体障害芸術家協会の会員。
- ② 相川誠写真展「富士山を撮る」
相川誠さんは、東京都在住の視覚障害のある写真家。富士山に魅せられ、夫人のサポートを得て、富士山のさまざまなすがたを撮りつづけてきた。3万点の作品の中から、珠玉の20点を紹介。
- ③ さとなかちえ作品展～ほっこりしたじかん～
さとなかちえさんは、大阪府出身の画家。一日の大半をベッドで過ごす日々の中で、自分を元気づけるために絵を描きつづけている。1999年、障害者アートバンク（現アートビリティ）大賞受賞。2002年、アジア太平洋障害者の十年国際会議記念切手の原画作者。

会場スケジュール

10月21日(月)

会場	大阪国際会議場(グランキューブ大阪)	
時間	5F メインホール	3F イベントホール
9:00		
10:00	開会式	
11:00	基調講演 KS-1/KS-2	
12:00		
13:00		
14:00	基調講演 KS-3	
15:00	パネルディスカッション PD-1	
16:00		
17:00		
18:00		
19:00		ウェルカム レセプション
20:00		

10月22日(火)

会場	ビッグ・アイ					
時間	ホール	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5・6会場
9:00						
10:00	全体会 RI-PL-1					
11:00						
12:00						
13:00						
14:00						
15:00	分科会 4 RI-PS-4	分科会 1 RI-PS-1	分科会 3 RI-PS-3	分科会 6 RI-PS-6	分科会 2 RI-PS-2	分科会 5 RI-PS-5
16:00						
17:00						
18:00						
19:00						
20:00						

10月23日(水)

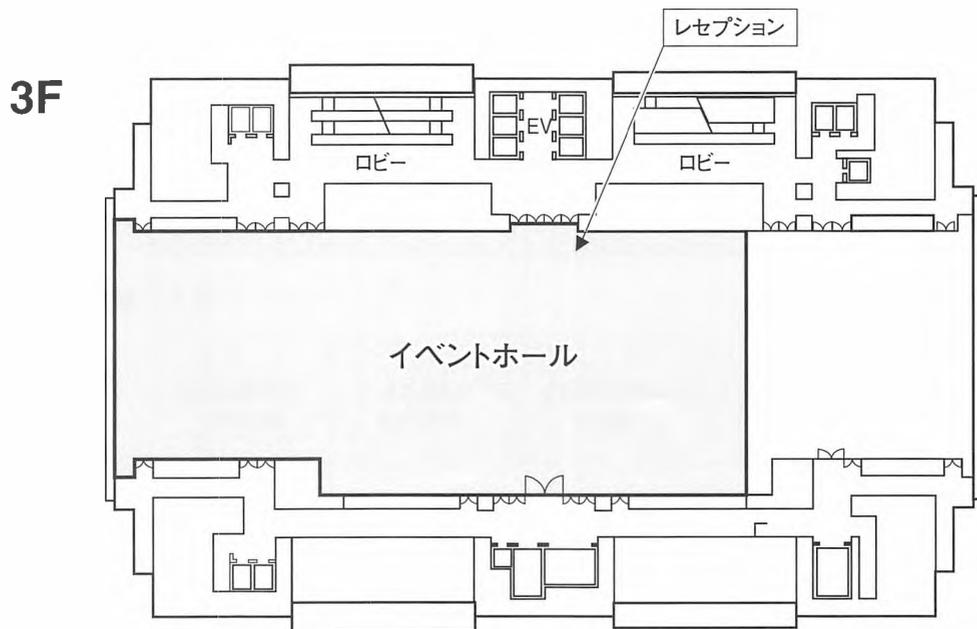
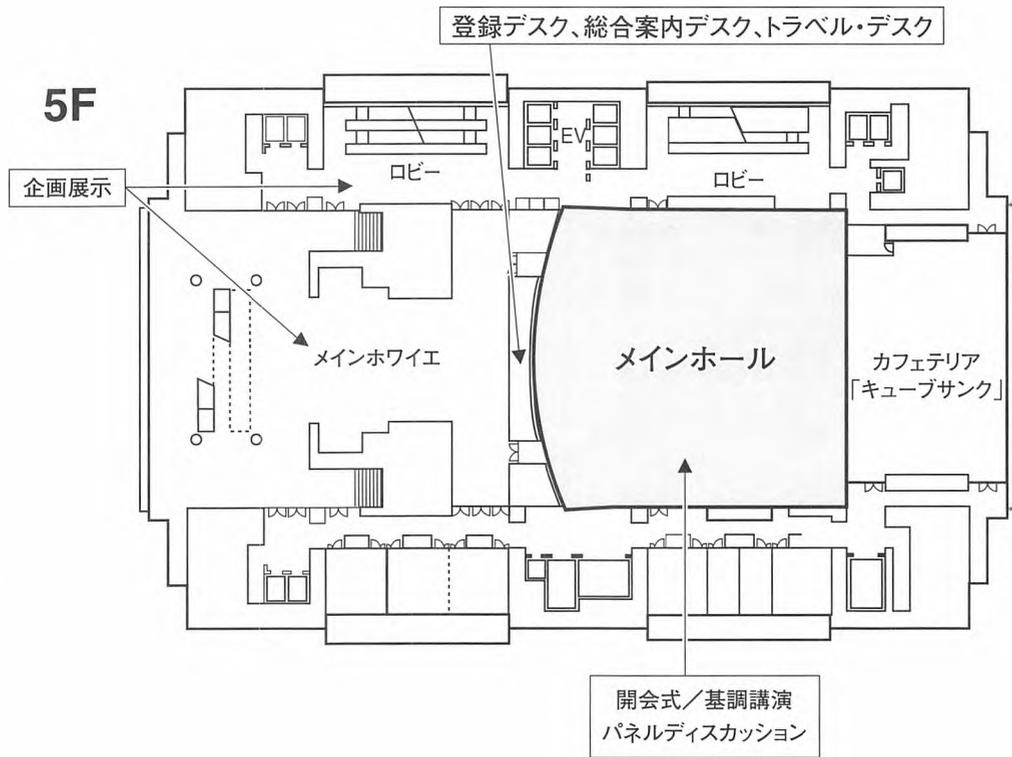
時間	会場 ビッグ・アイ						
	ホール	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
9:00							
10:00	全体会 PL-2	研究発表・口演 0-15	研究発表・ 口演 0-5	研究発表・ 口演 0-1	研究発表 ビデオ V5/V4/V3 V2/V1	研究発表・ 口演 0-9	研究発表・ 口演 0-13
11:00		RI80周年 記念講演 SS-1		研究発表・口演 0-2		研究発表・口演 0-10	
12:00		研究発表・口演 0-3/0-4	研究発表・ 口演 0-6	研究発表・ 口演 0-7		研究発表・ 口演 0-12	研究発表・口演 0-16
13:00	全体会 PL-3	特別分科会 (医学的リハビリテーション) SS-2		研究発表・口演 0-8	研究発表・口演 0-14		研究発表・口演 0-17
14:00			研究発表・口演 0-11				
15:00	閉会式						
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							

10月22日(火)

時間	会場 アミティ舞洲				
	アリーナ	サブアリーナ	研修室1	研修室2・3	会議室1・2
9:00					
10:00		分科会 1 NR-PS-1	分科会 2 NR-PS-2	分科会 3 NR-PS-3	分科会 4 NR-PS-4
11:00					
12:00					
13:00					
14:00	交流分科会 5 RNN-PS-5	交流分科会 1 RNN-PS-1	交流分科会 2 RNN-PS-2	交流分科会 3 RNN-PS-3	交流分科会 4 RNN-PS-4
15:00					
16:00					
17:00					
18:00					
19:00					
20:00					

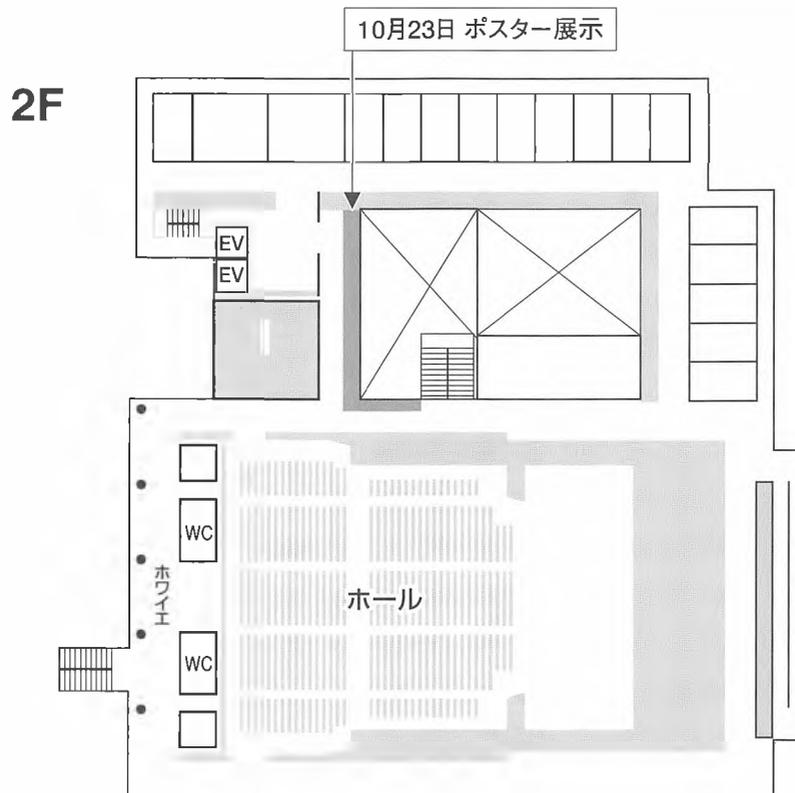
会場図

大阪国際会議場



国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）

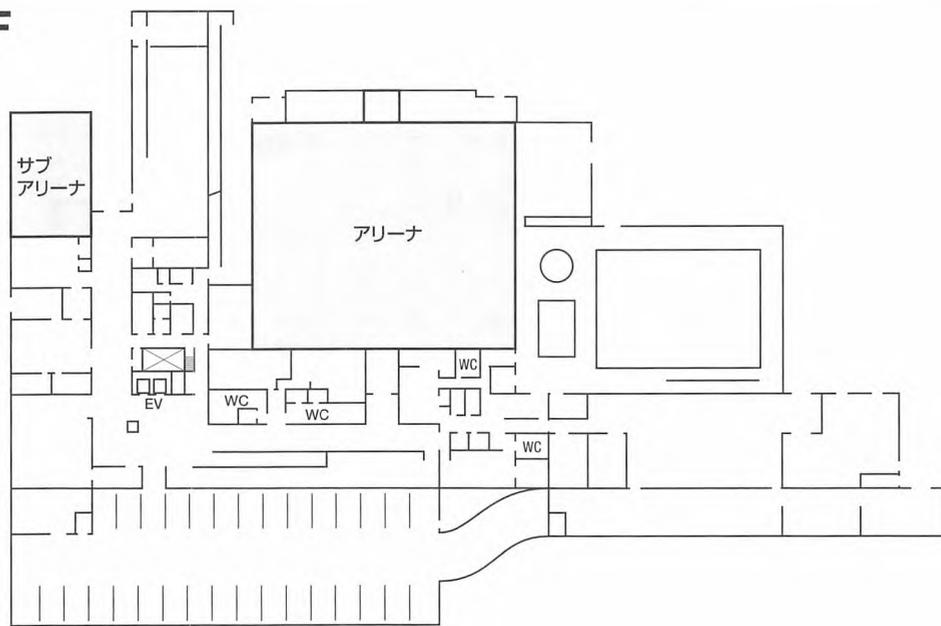
会場
図



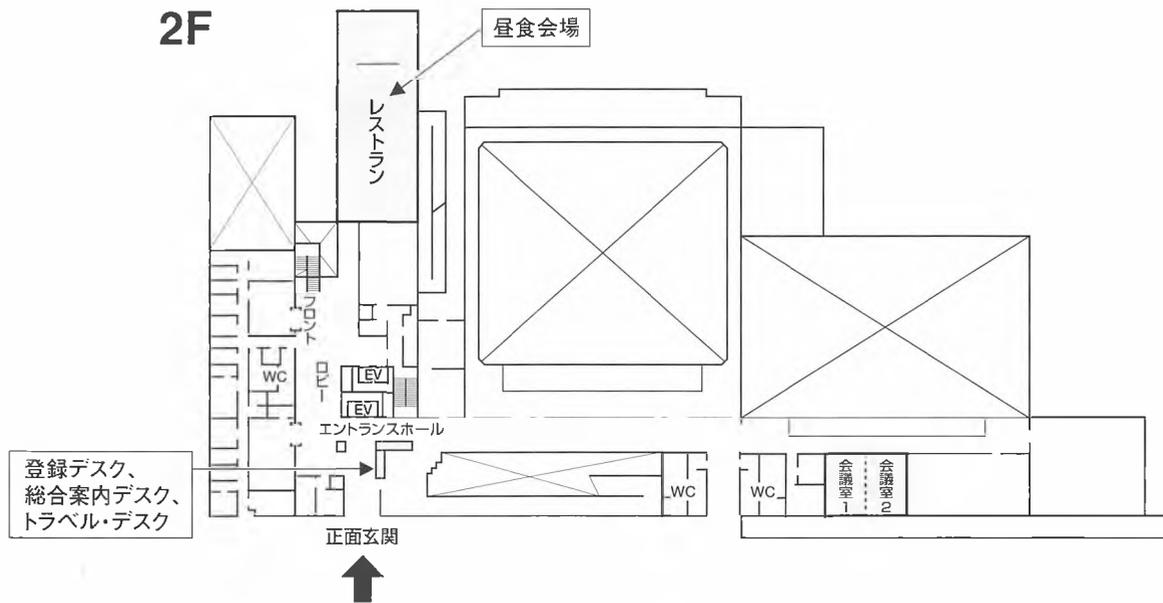
会場図

アミティ舞洲

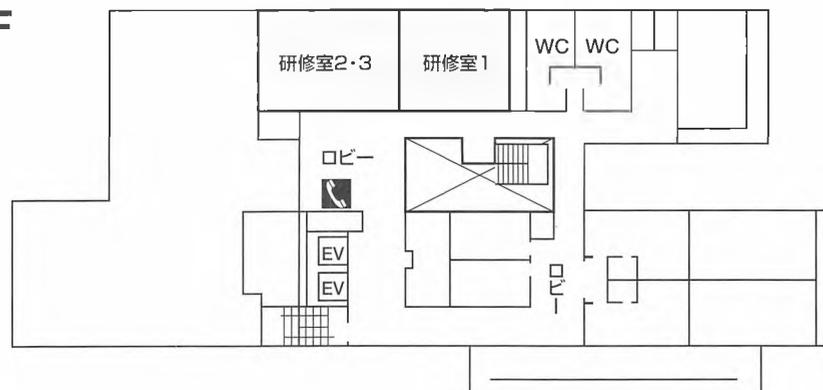
1F



2F



3F



会場図

10月21日(月)

RI/RNN/総合リハ/職リハ 合同プログラム

10月21日(月) プログラム

9:30~10:50

開会式

開会の辞	嵐谷 安雄	大阪フォーラム組織委員長
主催者挨拶及び特別講演	八代 英太	最終年記念フォーラム組織委員会委員長
主催者挨拶	レックス・フリーデン	RI会長 アメリカ
常陸宮正仁殿下お言葉		
来賓挨拶	渡辺 具能	厚生労働大臣政務官
	太田 房江	大阪府知事
	磯村 隆文	大阪市長
	大海渡桂子	国連アジア太平洋経済社会委員会(UN ESCAP)事務局次長
	キッキ・ノードストローム	国際障害同盟(IDA)議長 スウェーデン

IDA声明2002

11:00~12:00

基調講演

KS-1 アジア太平洋地域におけるRIおよびRNNの貢献 —過去・現在・未来—

講演者	ハリー・ファン	RI顧問 中国香港特別行政区
座長	神谷 武秀	日本障害者雇用促進協会常務理事

KS-2 アジア地域における地域に根ざしたリハビリテーション(CBR)政策・計画の重要課題

講演者	マヤ・トーマス	障害者リハビリテーション政策アドバイザー・研修マネージャー インド
座長	澤村 誠志	兵庫県立総合リハビリテーションセンター顧問

13:30~14:00

KS-3 国連「障害者の機会均等化に関する標準規則」の総括と障害者権利条約へのインパクト

講演者	ベンクト・リンドクビスト	国連社会開発委員会特別報告者 スウェーデン
座長	レックス・フリーデン	RI会長 アメリカ

14:15~16:45

パネルディスカッション

PD-1 障害者権利条約制定に向けて

ファシリテーター	アーサー・オライリー	前RI会長 アイルランド
	平野みどり	DPI日本会議副議長
パネリスト	ニコラス・ホーエン	国連人権委員会代表 タイ
	鄧撲方(デン・プファン)	中国障害者連合会(CDPF)会長 中国
	ジョシュア・マリंगा	DPI世界議長 ジンバブエ
	ビクター・ウーゴ・フロレス・H	メキシコ大統領執務室長 メキシコ
	エソップ・G・パハド	大統領府担当大臣 南アフリカ
	ヘレン・ミーコシャ	障害をもつ女性オーストラリア副会長 オーストラリア
	池原 毅和	日本弁護士連合会
	バート・マッシー	障害者権利委員会委員長 イギリス
指定発言者	リサ・カウピネン	世界ろう連盟会長 フィンランド
アドバイザー	ベンクト・リンドクビスト	国連社会開発委員会特別報告者 スウェーデン

18:00~20:00

ウェルカム・レセプション

大阪国際会議場《グランキューブ大阪》

メインホール(5F)

イベントホール(3F)

10月22日(火)

RI (第12回リハビリテーション・インターナショナル)

10月22日(火) プログラム

ビッグ・アイ

ホール(1F)	9:30~12:30	全体会	<p>RI-PL-1 障害者差別禁止への取り組み—アジア太平洋地域の現状・課題・展望—</p> <p>ファシリテーター ナロン・パティバツアラキッチ 前タイ上院議員 タイ 北野 誠一 桃山学院大学社会福祉学部教授</p> <p>スピーカー ウェンディ・ウィックス ニューージーランド ワン・シン・シアン 中国障害者連合 中国 セタラキ・マカナワイ フィジー障害者インターナショナル (DPI) フィジー ウマ・トゥリ RIアジア太平洋地域教育委員会副委員長 インド ヒュン・シク・キム RIナショナルセクレタリー 韓国 リチャード・アルセノ 貧困撲滅委員会障害者センター代表 フィリピン 北野 誠一 桃山学院大学社会福祉学部教授 ナリワン・チンタカノンド 社会福祉協議会事務局長 タイ</p>
第1会場(1F)	13:30~16:30	分科会1 社会	<p>RI-PS-1 障害とは何か：最新の障害概念の発展とその意義</p> <p>ファシリテーター 佐藤 久夫 RIアジア太平洋地域社会委員会委員長(日本社会事業大学教授) ジョセフ・クオック RIナショナル・セクレタリー 中国香港特別行政区</p> <p>スピーカー エルキ・ケンバイネン RI社会委員会委員長 フィンランド ジョセフ・クオック RIナショナル・セクレタリー 中国香港特別行政区 佐藤 久夫 RIアジア太平洋地域社会委員会委員長(日本社会事業大学教授) 上田 敏 日本障害者リハビリテーション協会副会長</p>
第4会場(1F)	13:30~16:30	分科会2 教育	<p>RI-PS-2 障害児の教育権—全ての障害児に教育を—</p> <p>ファシリテーター ペニー・プライス RIアジア太平洋地域教育委員会委員長 オーストラリア 植村 英晴 日本社会事業大学教授</p> <p>スピーカー ウマ・トゥリ RIアジア太平洋地域教育委員会副委員長 インド ツレ・ジョンソン ヨテボリ大学 スウェーデン 松矢 勝宏 東京学芸大学教授</p>
第2会場(1F)	13:30~16:30	分科会3 職業	<p>RI-PS-3 職業リハビリテーションおよび障害者雇用分野におけるパートナーシップ</p> <p>ファシリテーター デボラ・ウォン RIアジア太平洋地域就労・雇用委員会委員長 中国香港特別行政区 大漣 憲一 RIアジア太平洋地域就労・雇用委員会副委員長(関東学院大学講師)</p> <p>スピーカー オフィリア・チャン 中国香港特別行政区 朝日 雅也 埼玉県立大学保健医療福祉学部講師 ジェーソン・マッキー Job Placement Ltd. オーストラリア 報告者 ティム・ペイブ ショー・トラスト局長 イギリス</p>
ホール(1F)	13:30~16:30	分科会4 アクセシビリティ	<p>RI-PS-4 障害者の権利を実現する福祉機器とアクセス</p> <p>ファシリテーター アーサー・マック RIアジア太平洋地域福祉機器・アクセス専門委員会委員長 中国香港特別行政区</p> <p>スピーカー 山内 繁 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所長 クリスティ・ウィルソン 国立障害・リハビリテーション研究所 アメリカ ロバート・フットマン 前リージェンシーパーク・リハビリテーション工学センター所長 中国香港特別行政区 ヤン・イングバル・リンドストローム スウェリ会長 スウェーデン 河村 宏 日本障害者リハビリテーション協会情報センター長 菊地 眞 防衛医科大学 スティッグ・ベッカー スウェーデン障害者研究所 スウェーデン</p>

第5・6会場
(1F)

13:30~16:30 分科会5 バリアフリー観光

RI-PS-5 万人のQOLをめざすバリアフリー観光

ファシリテーター ハンドヨ・チャンドラクスマ

スピーカー ビーナス・イラガン
スピーカール ビーナス・イラガン
ジャン・ルイ・ビグヌーダ
杳名 豊明

地域に根ざしたりハビリテーション (CBR)開発・研修センター インドネシア

DPIアジア太平洋ブロック議長 フィリピン

DPIアジア太平洋ブロック議長 フィリピン

国連アジア太平洋経済社会委員会(UN ESCAP) 代表 タイ
メディカルリンクス株式会社

第3会場
(1F)

13:30~16:30 分科会6 国際協力

RI-PS-6 障害分野の国際協力-これからの障害者支援のあり方を考える

ファシリテーター トーマス・ラガウォル
寺島 彰

スピーカー ジュディ・ヒューマン
宮原 千絵
ブラーム・プラカッシュ

黒川千万喜
キッキ・ノードストローム
トーマス・ラガウォル

RI事務総長 アメリカ

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部部長

世界銀行障害と開発アドバイザー アメリカ

国際協力事業団(JICA)企画・評価部環境・女性課

アジア開発銀行地域協力・持続的開発局、貧困削減・社会開発課課長 マレーシア

トヨタ財団 顧問

国際障害同盟(IDA)議長 スウェーデン

RI事務総長 アメリカ

17:00~20:00 夕食会 ビッグ・アイ(ふれあい交流ひろば)

RNN (「アジア太平洋障害者の十年」推進キャンペーン)

訪問予定地

9:00~12:00 見学会 *各訪問地を送迎バスにてご案内いたします。

1. 日本ライトハウス (視覚障害のある人々のための包括的サービス)
2. メインストリーム協会、自立生活センター・ナビ (重い障害をもつ人の自立生活センター)
3. 株式会社ダスキン、かんでんエルハート (知的障害のある人々を雇用している企業)
4. 大阪市舞洲障害者スポーツセンター<アミティ舞洲> (障害者スポーツセンター見学とスポーツ体験)
5. 自立生活センター・MY-DO~まいど~/オガリ作業所/大阪障害者労働センター・まつさくぐるーぷ/精神障害者地域生活支援センターすいすい (共同作業所など、障害のある人々の働く場)

12:00~14:00 昼食 アミティ舞洲(レストラン2F)

サブアリーナ(1F)

14:00~16:00 交流分科会 1

RNN-PS-1 聴覚障害のある人々の交流会

コーディネーター 清田 廣

社団法人大阪聴力障害者協会会長

交流分科会 2

RNN-PS-2 精神障害のある人々の交流会

コーディネーター 山口 博之

大阪精神障害者連絡会

交流分科会 3

RNN-PS-3 障害のある女性をとりまく問題に関する意見交換会

コーディネーター 筒井 純子

障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会議

交流分科会 4

RNN-PS-4 その他の障害のある人々(オストミーの人々を含む)交流会

研究室1(3F)

研究室2・3(3F)

会議室1・2(2F)

アリーナ(1F)

アミティ舞洲

総合リハ (総合リハビリテーション研究大会)

サブアリーナ(1F)

9:30~12:00

分科会1

NR-PS-1 ハードルのない地域・・・バリアフリーを考える

司会者 辻 一
シンポジスト 末田 統
三星 明宏
赤塚 光昭
河村 宏

社団法人大阪脊髄損傷者協会会長
徳島大学大学院エコシステム工学教授
近畿大学理工学部社会環境工学科教授
清水建設株式会社関西事業本部
日本障害者リハビリテーション協会情報センター長、最終年フォーラムキャンペーン委員

研究室1(3F)

9:30~12:00

分科会2

NR-PS-2 当事者性について考える・・・自立生活運動の実践報告：現状・展望

司会者 尾上 浩二
シンポジスト 樋口 恵子
八木 三郎
松友 了

DPI日本会議事務局次長
DPI日本会議
天理市障害者福祉団体連合会会長
全日本手をつなぐ育成会常務理事、最終年フォーラムキャンペーン委員長

研究室2・3(3F)

9:30~12:00

分科会3

NR-PS-3 障害者を締め出さない社会・・・欠格条項について

司会者 牧口 一二
シンポジスト 白井久美子
舟田 縁
下村 幸男
岸本めぐみ
瀬山 紀子

大阪フォーラム組織委員会副委員長
障害者欠格条項をなくす会事務局長
聴覚障害をもつ医療従事者の会事務局
大阪精神障害者連絡会「ぼちぼちクラブ」
在宅CADワーカー
お茶の水女子大学大学院、最終年フォーラムキャンペーン委員

会議室1・2(2F)

9:30~12:00

分科会4

NR-PS-4 新しい地域福祉を展望する・・・障害者プランの現状と新障害者プランへの提言

司会者 楠 敏雄
シンポジスト 澤村 誠志
夔 博久 (カン・バック)
大谷 強
池田 直樹
小林 茂夫
金 政玉 (キム・ジョンオク)

DPI日本会議副議長
兵庫県立総合リハビリテーションセンター顧問
全国障害者解放運動連絡会議関西ブロック事務局
関西学院大学経済学部教授
大阪アドボカシー法律事務所所長弁護士
大阪市障害者就業・生活支援センター所長
DPI日本会議事務局次長、最終年フォーラムキャンペーン委員

12:00~14:00 昼食 アミティ舞洲(レストラン2F)

アミティ舞洲

RNN/総合リハ 合同プログラム

14:00~17:00 見学会

17:00~20:00 夕食会

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

職リハ (国際職業リハビリテーション研究大会)

※詳細は、当日会場で配られるプログラムをご参照下さい。

9:30~10:00 開会式

挨拶 椎谷 正 日本障害者雇用促進協会会長

10:00~12:00 特別講演 I

アジア太平洋地域諸国における障害者の訓練および雇用機会の記述的分析

講師 デボラ・ペリー ILO職業リハビリテーション上席専門官 タイ

特別講演 II

日本の職業リハビリテーション—その実践と研究の歩み—

講師 三ツ木任一 放送大学名誉教授

13:30~17:00 国際交流分科会1

障害者雇用に関する法制度・施策

座長 工藤 正 障害者職業総合センター主任研究員

発表者 マイク・フロイド ロンドン市立大学リハビリテーション・リソースセンター所長 イギリス

サニー・ラップ・ケイ・シウ 中国香港特別行政区政府労働省上席労働担当官 中国香港特別行政区

グエン・マン・クン ベトナム労働職傷社会福祉省国際関係部副部長 ベトナム
佐藤 悦子 厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課長補佐

国際交流分科会2

職業リハビリテーション (I) : 職業指導・評価

座長 谷 素子 障害者職業総合センター統括研究員

発表者 ジャスティン・タン ビズリングセンター・シンガポール社代表 シンガポール
ドロレス・ディアング・ソテリオ フィリピン障害者福祉協議会プログラム管理部長 フィリピン
リー・クン 中国障害者連合会 (CDPF) 教育雇用部教科オフィサー兼
職業カウンセラー 中国

成岡 衛 奈良障害者職業センター所長

国際交流分科会3

職業リハビリテーション (II) : 職業能力開発

座長 田中 康雄 国立吉備高原職業リハビリテーションセンター所長

発表者 アブダル・リファイ・マス インドネシア国立障害者職業リハビリテーションセンター所長 インドネシア
キム・ヤン・エイ 韓国障害者雇用促進公団職業リハビリテーション部副部長 韓国
N・J・パティラナ スリランカ社会サービス省社会サービス局長 スリランカ
平川 政利 国立職業リハビリテーションセンター訓練第4課長

国際交流分科会4

民間企業における障害者雇用状況、好事例紹介

座長 秦 政 日本障害者雇用促進協会障害者雇用アドバイザー

発表者 ジェフリー・ハーディ カーターニューウェル法律事務所所長 オーストラリア
プリーッド・タナロンコーン ジンタナアパレル社専務 タイ

モハメッド・ファッド・アハマッド チップバック社人事部部長 マレーシア

水本 幸儀 参天製薬株式会社企画・業務本部人事部部長

10月23日(水)

RI/RNN/総合リハ 合同プログラム

10月23日(水) プログラム

ホール
(1F)

9:30~12:30

全体会

PL-2 アジア太平洋障害者の十年の評価とポスト十年への取り組み

ファシリテーター	丸山 一郎	RNN事務局長
	ジュディ・ウィー	障害者福祉協会 シンガポール
解説	佐藤 久夫	RNNリサーチ・コーディネーター(日本社会事業大学教授)
シンポジスト	P. ナロン	前タイ上院議員 タイ
	S. ハク	SARPV バングラデッシュ
	D. W. チャン	エデンハウス 韓国
	高田 英一	全日本ろうあ連盟副理事長
	D. T. ヴァン	ブライト・フューチャーグループ ベトナム
	J. B. マンロー	法律タスクフォース ニュージーランド
	S. セタラキ	教育タスクフォース フィジー
	N. カーン	国民の啓発タスクフォース バングラデッシュ
	K. ダス	障害のある女性タスクフォース インド

13:30~16:00

全体会

PL-3 ポスト十年への取り組みを考える - 新たなRNNの枠組みと活動を中心に -

ファシリテーター	松井 亮輔	RIアジア太平洋地域委員会委員長
	ジョセフ・クオック	RNNストラテジー・コーディネーター 中国香港特別行政区
スピーカー	ビーナス・イラガン	障害者インターナショナル・アジア太平洋地域評議会 (DPI) アジア太平洋ブロック議長 フィリピン
	J. B. マンロー	国際育成会連盟アジア委員会(II) ニュージーランド
	ベニー・チュン	リハビリテーション・インターナショナル・アジア太平洋地域委員会(RI) 中国香港特別行政区
	チェン・ホ・クァ	アジア盲人連合(WBU) (AP地域担当者) シンガポール
	小椋 武夫	世界ろう連盟アジア太平洋事務局(WFD)
	福島 智	世界盲人ろう者連盟(WFDb)
	メアリ・オハイガン	精神医療利用者・生還者世界ネットワーク(WNUSP) ニュージーランド
アドバイザー	高嶺 豊	UN ESCAP 代表
	ベンジャ・チョンラタノン	アジア太平洋障害開発センター(仮称)代表 タイ

10:30~12:00

RI 80周年記念講演

SS-1 リハビリテーション・インターナショナル 80年のあゆみ

座長	松井 亮輔	リハビリテーション・インターナショナル (RI) 副会長
演者	ノーラ・グロース	エール大学 アメリカ

13:30~15:30

特別分科会

SS-2 障害者の福祉向上のための医学的リハビリテーション

ファシリテーター	マーティン・グラボイス	RI医学委員会委員長
	石神 重信	防衛医科大学リハビリテーション科
スピーカー	ハンドヨ・チャンドラクスマ	地域に根ざしたリハビリテーション (CBR) 開発・研修センター インドネシア
	マーティン・グラボイス	RI医学委員会委員長
	佐藤徳太郎	国立身体障害者リハビリテーションセンター総長

第1会場
(1F)

ビッグ・アイ

RI/RNN/総合リハ合同 研究発表(口演発表)

第1会場 (1F)

- 9:30~10:15 **O-15 国際協力の多様な展開**
座長 Elizabeth Jean Croot シェフィールド大学 イギリス
- O-15-1 The "Love Without Frontiers" campaign- to ban landmines with international community
Emma Lichia Lee Eden Social Welfare Foundation 台湾
- O-15-3 Joy visual impairment center work communion
Emma Lichia Lee Eden Social Welfare Foundation 台湾
- 12:30~13:00 **O-3 障害原因の予防**
座長 WILLIAM G. BROHIER マレーシア
- O-3-1 WORLD SIGHT DAY AND THE CHALLENGE
WILLIAM G BROHIER マレーシア
- O-3-2 CALCIUM DEFICIENCY RICKETS IN CHAKARIA
Md. Shahidul Haque SARPV バングラデッシュ
- 13:00~13:15 **O-4 脳神経の障害とリハビリテーション**
座長 WILLIAM G. BROHIER マレーシア
- O-4-1 Neuro-Rehabilitation Requiring Concerted Efforts of Medical Welfare Specialists
Junichi Saeki Clinical study (research) center

ビッグ・アイ

第2会場 (1F)

- 9:30~11:30 **O-5 アクセスとバリアフリー**
座長 ADELA AVILA KONO Regional Council for the Welfare of Disabled Persons -Region 7 フィリピン
副座長 山内 繁 国立身体障害者リハビリテーションセンター
- O-5-1 HOW ACCESSIBLE IS THE PHILIPPINES?
ADELA AVILA KONO Regional Council for the Welfare of Disabled Persons-Region 7 フィリピン
- O-5-2 The Accessible Interface : Inclusion from Buildings to Infrastructure.
Joseph Kwan Environmental Advisory Service 中国香港特別行政区
- O-5-3 The Accessibility of Government Buildings and Services in Hong Kong: Cases Studies
KOON-HUNG LEE REHABILITATION ALLIANCE HONG KONG 中国香港特別行政区
- O-5-4 BARRIERS BEFORE BARRIER FREE ENVIRONMENTS S.V.ARIYARATNE AND PREMADASA DISANAYAKA ASAPUWA AND REHABLANKA, SRI LANKA
SRI VIKUM S.V ARIYARATNE ORGANIZATION FOR THE REHABILITATION OF PERSONS WITH DISABILITIES スリランカ
- O-5-5 ACCESS IN DEVELOPING COUNTRIES
Mantaka Khan REHABILITATION INTERNATIONAL パキスタン
- O-5-6 Taiwanese campuses Campaign to be Barrier-Free
Tung-Pin Teng Eden Social Welfare Foundation 台湾
- O-5-7 Transport Service for the people with disabled
Tung-Pin Teng Eden Social Welfare Foundation 台湾
- O-5-8 The future subject of "Tourism for all" in Japan
Takefumi Yoshida Tokyo Colony
- 12:30~14:15 **O-6 情報・コミュニケーション技術 (ICT) その他の技術**
座長 Monthian Buntan Thailand Association of the Blind タイ
副座長 アーサー F.T. マック 香港理工大学 中国香港特別行政区
- O-6-1 An eyeball movement input device easier to operate and available with lower cost
Tomoya Miyasaka Sapporo Medical University post graduate course
- O-6-2 The Possible Contribution of Korea for Overcoming the Digital Divide of People with Disabilities in the Asia-Pacific Region
Woon-hwan Na Taegu University 韓国

- 12:30~14:15 O-6-3 ARNIT - Access to the Internet for People with Aphasia
Ilkka Saarnio Parconec フィンランド
- O-6-4 Bioengineering for Rehabilitation - Combining Education, Research and Community Service - a Reflection on the Model at The Hong Kong Polytechnic University
ARTHUR F.T. MAK The Hong Kong Polytechnic University 中国香港特别行政区
- O-6-5 Tele-rehabilitation use for Assistive Technology Service
Eric W.C. TAM The Hong Kong Polytechnic University 中国香港特别行政区
- O-6-6 THE PROCESS OF DESIGNING SPECIAL PRODUCTS FOR PEOPLE WITH PHYSICAL DISABILITIES
Yahya Md.Zimli Universiti Teknologi MARA, Malaysia マレーシア
- O-6-7 UiTM* AS A NATIONAL CENTRE FOR DESIGN AND MANUFACTURE OF SPECIAL PRODUCTS FOR PEOPLE WITH DISABILITIES IN MALAYSIA
Ibrahim Marzuki Universiti Teknologi MARA, Malaysia マレーシア

- 9:30~11:00 O-1 自助組織と障害者権利運動
座長 セタラキ・マカナワイ フィジー障害者インターナショナル(DPI) フィジー
副座長 横 英弘 花園大学
- O-1-1 Fight for the rights of the people with disabled
Fu-Chiao Tai Eden Social Welfare Foundation 台湾
- O-1-2 ACTIVITIES MOVEMENT OF PWDs IN LAO PDR
CHANHPHENG SIVILA Mr. Somphet Akhavong ラオス
- O-1-3 A glance at Hanoi Deaf Club and deaf people in Vietnam
Tuan Ngoc Tran Hanoi Deaf Club ベトナム
- O-1-4 Effectiveness of NGOs in promoting the rights of PWDS
Ijazulla A. Ali CARE SOCIETY モルディブ
- O-1-5 Experiences of Establishing Partnership between Self-Help Group(SHG)and Rehabilitation Professional
Yoshimichi Ogawa Kanagawa Institute of Technology
- O-1-6 Mentoring through Creative Arts-The Peer Support Project
Raymond Wai Man HUI CHOSEN POWER 中国香港特别行政区
- 11:00~12:00 O-2 障害者政策と策定過程への参加
座長 J. B. マンロー 国際育成会連盟アジア委員会(II) ニュージーランド
副座長 関川 芳孝 大阪府立大学
- O-2-1 PARTICIPATION IN POLICY DEVELOPMENT PROCESS
SRI VIKUM S.V ARIYARATNE ORGANIZATION FOR THE REHABILITATION OF PERSONS WITH DISABILITIES スリランカ
- O-2-2 Disabled persons as the members of the Society
Tsutomu Fujita Japanese Federation of Organizations of the Disabled Persons
- O-2-3 PARTICIPATION IN POLICY DEVELOPMENT PROCESS
FATIMA MANSURI DPI PAKISTAN KARACHI SINDH パキスタン
- O-2-4 ENFORCING CIVIL RIGHTS FOR DISABLED PEOPLE IN GREAT BRITAIN
BERT MASSIE DISABILITY RIGHTS COMMISSION イギリス
- 12:30~14:00 O-7 エンパワメントとQOL
座長 アロカ・グーハ 自閉症・脳性麻痺・知的障害・重複障害のある人々のための
副座長 植村 英晴 ナショナルトラスト会長 インド
日本社会事業大学
- O-7-1 Effects of a Self-advocacy Program on the Self-advocacy Skills of College Students with Visual Disabilities
Myongye Bang Woosuk University 韓国
- O-7-2 Paving the Self Help Path - The Chosen Story
Vincent Wai Sun MOK CHOSEN POWER 中国香港特别行政区
- O-7-3 Staff Training Workshop on Quality of Life of Students with Learning Difficulties - A Hong Kong Experience
King Shui Phyllis Wong The University of Hong Kong 中国香港特别行政区

第3会場
(1F)

- 12:30~14:00 O-7-4 Restoring mobility and independence through Prosthetic & Orthotic intervention. A review of the strategies required for an integrated and effective approach
Carson Harte Cambodia Trust イギリス
- O-7-5 What is it in QOL?
Saori Tanaka Graduate School of Science and Technology, CHIBA UNIVERSITY
- O-7-6 Empowerment: Towards Active, Independent Individuals
Cheng Harn Chong Handicaps Welfare Association シンガポール
- 14:30~15:45 O-8 市民啓発とマスメディア
座長 A.H.M NOMAN. KHAN CENTRE FOR DISABILITY IN DEVELOPMENT(CDD) バングラデシュ
副座長 小澤 温 大阪市立大学
- O-8-1 ADVANTAGES OF PROMOTION AND AWARENESS
DOROTHY-ANNE HOWITSON NAT COUNCIL PERSONS PHYSICAL DISABILITIES SOUTH AFRICA 南アフリカ
- O-8-2 Community Mobilization for Public Education in Rehabilitation
Philip Yuen Joint Council for the Physically and Mentally Disabled Hong Kong 中国香港特別行政区
- O-8-3 Public's awareness towards people with epilepsy and the role of mass media in Hong Kong SAR, China
Tak-fung, Anchor HUNG Hong Kong Society for Rehabilitation 中国香港特別行政区
- O-8-4 Sharing the Experience of Promoting Community Education on Rehabilitation
PO YI LAI Social Welfare Department 中国香港特別行政区
- O-8-5 The Media and You
Lim Kok Liong Handicaps Welfare Association シンガポール

ビッグ・アイ

第4会場
(1F)

- 13:45~14:30 O-14 知的障害者との共生
座長 沼田 千好子 日本知的障害福祉連盟
- O-14-1 Disability and Diversity: The need for cultural competence
Elizabeth Jean Croot University of Sheffield イギリス
- O-14-2 Care in the Community? A share-care service for people with intellectual disabilities
Amelia Ting 中国香港特別行政区
- O-14-3 Sexuality of Adults with Intellectual Disability: Staff Attitude and Handling Approaches
MABEL SIU-LING YU HONG KONG SOCIAL WELFARE DEPARTMENT 中国香港特別行政区
- 15:00~15:30 O-11 アジア太平洋障害者の十年の欠落部分：精神障害者
座長 Wong Fu Keung 香港大学 中国香港特別行政区
- O-11-1 The roles of Psychiatric Social Workers in Japan - toward the total rehabilitation of people with mental disabilities -
Hiroshi Takebata Graduate School of Human Sciences, Osaka University
- O-11-2 The Effectiveness of Supported Apartment in Facilitating the Re-integration of Persons with Serious Mental Illnesses in the Community: The Hong Kong Experiences
Fu Keung Wong The University of Hong Kong 中国香港特別行政区

第5会場
(1F)

- 9:30~11:15 O-9 世界の社会リハビリテーション
座長 奥野 英子 筑波大学
副座長 Heung-seek Cho ソウル国立大学 韓国
- O-9-1 Nantou 921 Shelter Factory
Ming Chin-Chiang Eden Social Welfare Foundation 台湾
- O-9-2 The challenges of people with disabilities in Nepal
Masayuki Watanabe Osaka University
- O-9-3 Development of Program for Attaining Social Functioning Abilities in Japan
Eiko Okuno University of Tsukuba
- O-9-4 The Case of Accessibility: the Policy of Openness in Residential Institutions for the Disabled in Korea
Heung-seek Cho Seoul National University 韓国

- 9:30~11:15**
- O-9-5 A DISABILITY COMMITTED FINANCIAL INSTITUTE CAN EXPEDITE LOCAL INITIATIVES: SETTING UP A COMMERCIAL BANK DEDICATED TO DISABLED COMMUNITY
S. M. Mayeen Ahmed SARPV バングラデシュ
- O-9-6 ECONOMIC EMPOWERMENT: Micro-credit for Disabled Persons and Their Families
Veronica Ester L. Menooza LEONARD CHESHIRE INTERNATIONAL フィリピン
- O-9-7 Change of Social Welfare Subvention Mode
Yeung Tak-wah Wai Ji Christian Service 中国香港特别行政区
- 11:30~12:00**
- O-10 自立生活：そのモデルと実践
座長 SIVASANGARARAO GURUVALOO INDEPENDENT LIVING & TRAINING CENTRE マレーシア
副座長 楠 敏雄 DPII日本会議
- O-10-1 The study on independent living models of people with extensive disability
JONG HWA JEONG sahyookyook University 韓国
- O-10-2 INDEPENDENT LIVING: A Malaysian Perspective, Experience and Model
Siva Francis Independent Living & Training Centre マレーシア
- 12:30~15:30**
- O-12 職業リハビリテーション：次のアジア太平洋障害者の十年への挑戦
座長 阪本 英樹 日本身体障害者団体連合会
副座長 佐藤 宏 職業能力開発総合大学校
- O-12-1 WHAT'S HAPPENING IN THE REGION? RESULTS OF AN ILO STUDY ON VOCATIONAL TRAINING AND EMPLOYMENT OF PEOPLE WITH DISABILITIES
DEBRA A. PERRY International Labour Office (ILO) タイ
- O-12-2 Comparative Study on Vocational Rehabilitation of Persons with Disabilities in Japan and Thailand
Arunee Limmanee Ratchasuda College タイ
- O-12-3 Cultivating More Members Involved in Welfare Activities is Critical-Three Proposals for the Next Decade
Hideki Sakamoto Tokyo Organizations: Japanese Federation of Organizations for the Disabled
- O-12-5 Approaches to vocational rehabilitation in Korea
Sun-woo Lee Inje University 韓国
- O-12-6 A Study on the construct validity of picture test inventories
Dal-yob Lee Taegu University 韓国
- O-12-7 The paradigm shift of vocational evaluation in the field of vocational rehabilitation
Seung-jae Lee Cheonan University 韓国
- O-12-8 Present and Future of Supported Employment Program in Korea
Sung-yeol Cho Korea Nazarene University 韓国
- O-12-4 Vocational Rehabilitation Through Computers - The Successful Model of Agape Rehabilitation Centre, Chennai, India.
Daniel Victor Agape Rehabilitation Center
- O-12-9 Vocational Rehabilitation
JAYALATH P. PATHIRANA National Council for the Welfare of the Disabled(Sri Lanka) スリランカ
- O-12-10 "Dragons' Passion" Cultural Kiosks-An Innovative Employment Project at the Parks A Touch of the Sensation of the Hong Kong & China Culture
Marian Mei Yuk Ngai New Life Psychiatric Rehabilitation Association 中国香港特别行政区
- 9:30~11:30**
- O-13 女性障害者の挑戦と前進
座長 クフ・ダス モビリティ・インディア インド
- O-13-1 Marriageability and Women with Disabilities
LING KAM-HAR NGAI REHABILITATION ALLIANCE HONG KONG 中国香港特别行政区
- O-13-2 Training The Trainers For Arts With The Disabled
Augustine CHIU Yu Mok Arts with Disabled Association Hong Kong 中国香港特别行政区
- O-13-3 INNOVATIVE PILOT PROJECT TRAINING CENTER FOR DISABLED WOMEN
FATIMA MANSURI DPI PAKISTAN KARACHI SINDH パキスタン

第6会場
(1F)

- 9:30~11:30 O-13-4 The movement of differently Abled Women in Korea
Ye-ja Lee Korean Differently Abled Women United 韓国
- O-13-5 Empowerment of Women who have Disabilities:Sri Lanka
KAMALAWATHIE NARAYANA GEDARA
ASSOCIATION OF WOMEN WITH DISABILITIES スリランカ
- O-13-6 Chalenges Face By Women With Disabilities In Nepal.
Sushila Paudel Nepal Disabled Women Society ネパール
- O-13-7 The Study of Problems and Needs of Girls and Women with Disabilities In Iran
Maryam Sharifian-Sani University of Social Welfare and Rehabilitation イラン
- O-13-8 Networking and social capital of disabled people's organizations and women's organization: Initial findings from a comparative study in Asia
Kin Fun Joseph Kwok City University of Hong Kong 中国香港特別行政区
- 13:30~14:15 O-16 CBRの新たな展開
座長 小林 明子 日本ALS協会
副座長 AINA KHOR アジア・コミュニティ・サービス マレーシア
- O-16-1 Community Based Rehabilitation Concepts, relevance, evidence
WIN J.A. VAN DEN HEUVEL INSTITUTE FOR REHABILITATION RESEARCH オランダ
- O-16-2 Role of Family and Community in the Community Based Rehabilitation
SULTANA S ZAMAN
(FOUNDATION FOR THE DEVELOPMENTALLY DISABLED) バングラデシュ
- O-16-3 AMPUTEE REHABILITATION AND PROSTHETICS
NAWA R. THAPALIYA Social Upliftment Forum ネパール
- 14:30~15:00 O-17 農村の障害者
座長 ANE KAMAL LAMICHH ATIONAL SOCIETY OF DISABLED, NEPAL ネパール
副座長 寺島 彰 国立身体障害者リハビリテーションセンター
- O-17-1 How ventilator-dependent ALS survive in the local area in Japan
Akiko Kobayashi Japan ALS Association
- O-17-2 PEOPLE WITH DISABILITIES IN RURAL AREA
KAMAL LAMICHHANE NATIONAL SOCIETY OF DISABLED, NEPAL ネパール

ビッグ・アイ

RI/RNN/総合リハ合同 研究発表(ビデオ発表)

第4会場
(1F)

- V-4, V-5 座長 尾上 浩二 DPI日本会議
V-1, V-2, V-3 座長 大渡 憲一 関東学院大学
- 10:30~11:00 V-5 The introduction about model of 'Korea type of the severely disabled' why try to live independently
Young-gil Cho Korea Differently Abled Federation 韓国
- 11:00~11:30 V-4 Local Rehabilitation Workshop in Low Income Countries
Arne Henning Eide SINTEF Unimed ノルウェイ
- 11:30~12:00 V-3 Special Education and Rehabilitation
Sarath Kumarathilake Banduge Islamic centre for the Physically Handicapped スリランカ
- 12:00~12:30 V-2 To Seek a Joy of Working --Two Case Reports of Indies Work-Shop for Person with Autism
Mari Oho Kanagawa Institute of Technology
- 12:30~13:30 V-1 AbilityAsia
Debra A. Perry International Labour Office (ILO) タイ

RI/RNN/総合リハ合同 研究発表 (ポスター発表)

10月23日(水) プログラム

2Fフォービー

ビッグ・アイ

9:30~16:00

- P-1 A Study of the Experiential Learning Program of Wheelchair Travels at Arakawa Plaza for Welfare Experience
Midori Nomura Tokyo Denki University
- P-2 Disability Scenario, problems & Prospects.
GOBINDA KHANAL ASSOCIATION OF THE DISABLED SERVICE NEPAL ネパール
- P-3 DISABILITY MOVEMENTS
Ragu Humagain Social Uplishment Forum ネパール
- P-4 韓国における自立生活運動の現状と課題-介助保障運動とアクセスビリティ運動を中心に-
JONG HWA JEONG Sahmyookyook University 韓国
- P-5 Handicaps Welfare Association - Leading the Independent Living Movement for People with Physical Disabilities in Singapore.
Subrata Banerje Handicaps Welfare Association シンガポール
- P-6 あけぼの寮における自立支援訓練への取り組み
Satomi Hamada Hiroshima Prefecture Rehabilitation Center
- P-7 Morale Difference in Comparison Between Japan and Taiwan Staff of Facility for People with Developmental Disabilities
Masao Tagaya Kaznuma Sheltered Workshop
- P-8 育ちと暮らしを支える生涯ケアの実現をめざして
Katsuko Suenaga Sendai Development Consultation Support Center
- P-9 The necessity to develop and carry out Assertive Community Treatment program for severe psychiatric disorders in Japan
Hirofumi Noguchi National Institute of Mental Health
- P-10 地域におけるハートピアきつれ川の取り組み
Masae Hashimoto National Federation of Families with a Mentally Disabled Member in Japan Heart Pier Kituregawa
- P-11 Educational Resource and Support Services for the Hearing Impaired
PHYLLIS Y S WONG Caritas - Hong Kong 中国香港特别行政区
- P-12 Verb Prediction Methods for the Korean Language Disorders
Hong-ki Min University of Incheon 韓国
- P-13 Assistive Technology in Thailand - Planning and Implementation
Penny H Parnes Queen's University カナダ
- P-14 “白杖を携行する” ことに関する中途視覚障害者の実情
Akiko Takata Japan College of Social Work
- P-15 Intervention to enhance communication between caregivers and an aphasiac
Mineko Booka Hiroshima Prefectural College of Health Sciences (research student)

RI/RNN/総合リハ合同プログラム

16:00~17:00

閉会式

- | | | |
|--------------|---------------|----------------------------|
| 主催者挨拶 | 板山 賢治 | 最終年記念フォーラム実行委員会委員長 |
| 次期各会議主催者代表挨拶 | タイ代表 | 第26回RIアジア太平洋地域会議, 2006 |
| | 丸山 一郎 | APDF (RNN新組織) キャンペーン, 2003 |
| | 佐藤徳太郎 | 総合リハビリテーション研究大会, 2003 |
| | 尾上 攻 | 職業リハビリテーション研究大会, 2003 |
| 来賓挨拶 | 木原 敬介 (予定) | 堺市長 |
| 大阪宣言 | 趣旨説明 松井 亮輔 | RI副会長 |
| | 朗 読 ビーナス・イラガン | DPIアジア太平洋ブロック議長 フィリピン |

ホール

職リハ (国際職業リハビリテーション研究大会)

9:30~17:00

研究発表

本館国際会議場2F

PARTNERSHIPS FOR DISABILITY RIGHTS



連絡先一覧

「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念フォーラム
大阪フォーラム

大阪フォーラム事務局

〒547-0026 大阪府大阪市平野区喜連西6-2-55
大阪市職業リハビリテーションセンター内
電話：06-6704-7201 Fax: 06-6704-7274
E-mail: osakaforum@v-sien.org

大阪フォーラム登録事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂9-5-27
乃木坂ミツビル4F
(株) コンベンションリンケージ内
電話：03-5770-5792 Fax: 03-5770-0818
E-mail: osaka-forum@secretariat.ne.jp

旅行会社

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-4-1
山口玄ビル6階
(株) 日本旅行 大阪支店
大阪フォーラム事務局
電話：06-6204-1922 Fax: 06-6204-4500
E-mail: kansai_inbound@nta.co.jp
URL: <http://www6.nta.co.jp/osaka/mainframe.html>

最終年記念フォーラム総合事務局

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1
(財) 日本障害者リハビリテーション協会内
電話：03-5292-7628 Fax: 03-5292-7630
E-mail: forum@dinf.ne.jp



国際障害同盟 (IDA) 声明

2002 大阪フォーラムに寄せて

国際的な主要 7 団体が加盟する国際障害同盟 (IDA) は、アジア太平洋地域に住む約 4 億の障害者をはじめ、世界の障害者 6 億人が直面する重大問題に関して、統一見解を表明する。アジア太平洋地域は、膨大な人口を抱えているほか、多様な国々を擁している点で特徴的な地域である。すなわち、人口が数億にのぼる国もあれば数万の国もあり、また、一人当たりの所得の高い先進工業国もあれば戦争と貧困にあえぐ国もある。したがって、アジア太平洋地域の経験は、全世界にとって極めて重要な意味をもつものと考えられる。

IDA は、1993～2002 年のアジア太平洋障害者の十年が、世界でもっとも人口の多いこの地域の障害をもつ子どもと成人の権利およびサービスを促進する上で、効果的な役割を果たしたと考える。IDA はとくに、以下に述べる成果に注意を促すとともに、より多くの障害者とその恩恵を受けられるようにするための方法を示したい。

- ・ 10 年間にわたり国連 ESCAP が築いた枠組に支えられて、この地域の各国政府および非政府組織の間で目標とパートナーシップが明確化された。これは望ましい効果をもたらしており、この協働モデルを今後域内各国に拡大するためのしっかりした基盤とするべきである。
- ・ 毎年開催された「十年」推進キャンペーンおよび関連の世界会議は、政策問題においてこの地域がもつ世界的リーダーシップを強化する役割を果たした。中でも特筆すべきは、中国で開催された 2000 年障害 NGO サミットである。このサミットでは、IDA 加盟団体および他の国際 NGO が、国連の障害者権利条約実現に向けた共同計画を開始した。この取り組みには、今後も密接な連携が求められる。
- ・ IDA 加盟団体の多くが「十年」期間中にこの地域で世界会議を開催し、「十年」の運営の仕方およびプロジェクトについて、つばさに学ぶことができた。このように広く国際的な理解が得られた結果、アフリカ障害者の十年が宣言されるとともに、アラブ地域でも同様の「十年」の実施を検討する旨の勧告がなされた。いずれの取り組みも、アジア太平洋障害者の十年のリーダーシップからガイダンスを受けることができよう。
- ・ IDA は、アジア太平洋地域における効果的な協働体制が 2002 年以降も継続することを認識するとともに、指導者に対し、「すべての人に教育を」、「子どもの権利条約」、「北京女性会議行動綱領」といった主要な国際的取り組みにおいて、より多くの障害

者がその対象となるための方策を模索するよう奨励する。

今後の展望

IDA は、アジア太平洋地域の障害者の大半が、貧困と障害が互いに因果関係をなす悪循環の中に置かれているとの認識から、貧困緩和戦略に軸足を置いた努力の継続・強化の必要性を強調したい。

この点に関して、国際的な研究機関、障害団体、および国際開発機関は一致協力し、この悪循環を断ち切るための戦略を練るべきである。

武力紛争および地雷は一般市民を恐怖に陥れ、多数の障害者を生み出している。IDA は各国政府および政治指導者に対し、現下の紛争の政治的解決方法を見出すとともに、効果的な地雷除去対策を講じるよう要請する。

アジア太平洋地域の障害・リハビリテーション分野のリーダーシップは「十年」の枠組によって強化されたが、域内各国の障害をもつ子どもと成人の利益が最大限に増進されるよう、その影響力を行使する方途を検討するべきである。

IDA はアジア太平洋地域の各国政府に対し、全世界の障害者の生活状況および権利の向上を図るため、国連障害者権利条約づくりを積極的に支持する。

IDA は以下の国際的な障害団体が加盟するネットワークである：

障害者インターナショナル、国際育成会同盟、リハビリテーション・インターナショナル、世界盲人連合、世界ろう連盟、世界盲ろう連盟、精神医療利用者・生還者世界ネットワーク

IDA の現会長は世界盲人連盟 (WBU) の Kicki Nordström 女史が努めている。

WBU/SRF Iris AB, SE-122 88 Enskede, SWEDEN

Tel: (46-8) 39 92 55 / 73

Fax: (46-8) 725 99 20

E-mail: kicki.nordstrom@iris.se



OSAKA FORUM



本フォーラムの記念切手が発行されました。
会場内にて記念切手付き絵はがき(切手原画作者による)セットを、
会場内の出張郵便局にて切手シートを販売しています。

このプログラムは、日本万国博覧会記念協会の補助金を得て作成されました。